

田原地区

地区概況
(H29. 4. 1 現在)

○世帯数：1,186 世帯、人口：2,666 人 ○人口密度：194.9 人/km² (市：194.83 人/km²)
○年齢3区分別人口・割合 (市平均：年少人口 10.0%、生産年齢人口 53.2%、老年人口 36.8%)

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	288 人	1,470 人	908 人
割合	10.8%	55.1%	34.1%

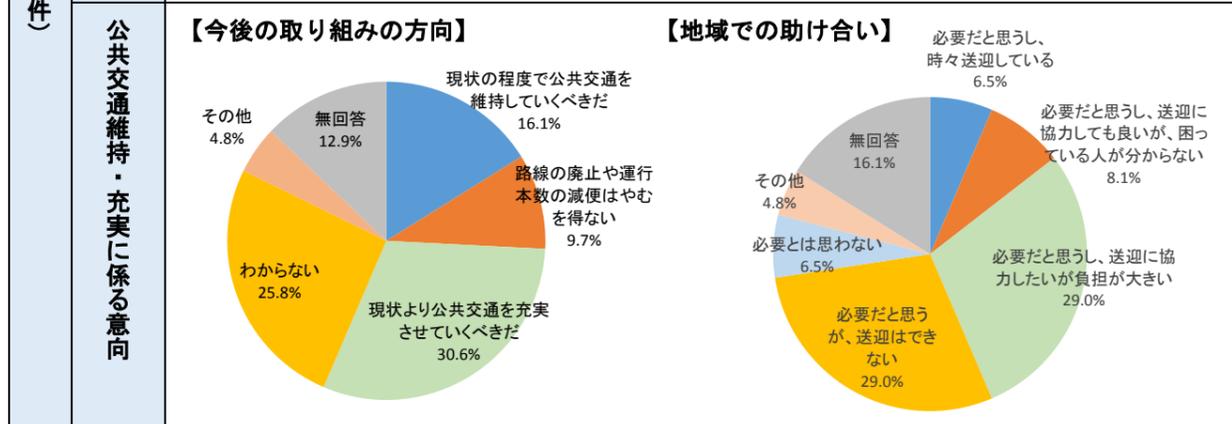
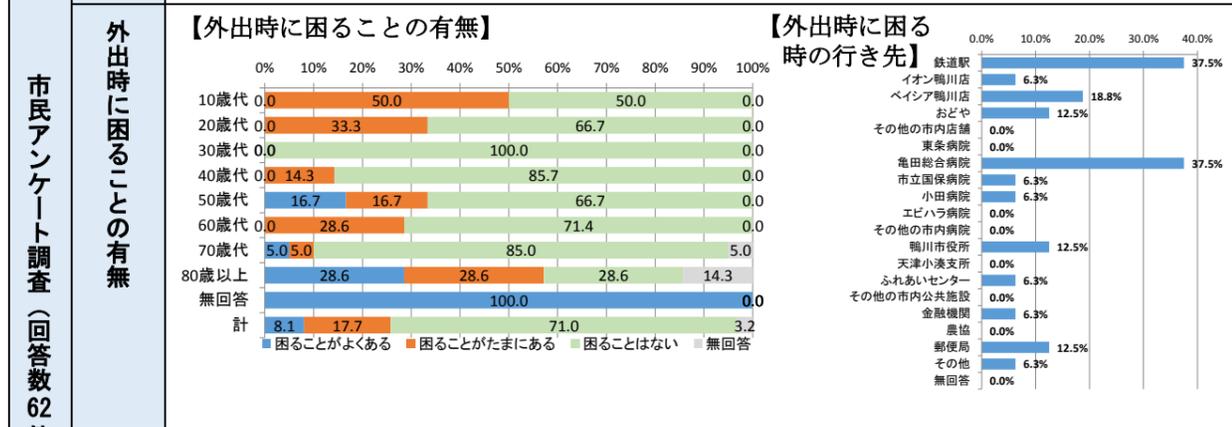
○人口分布
・県道 34 号線沿いを中心に、低密に人口が定着している。
・田原公民館及び鴨川地区隣接エリアにおいて若干集中している。

公共交通の現状

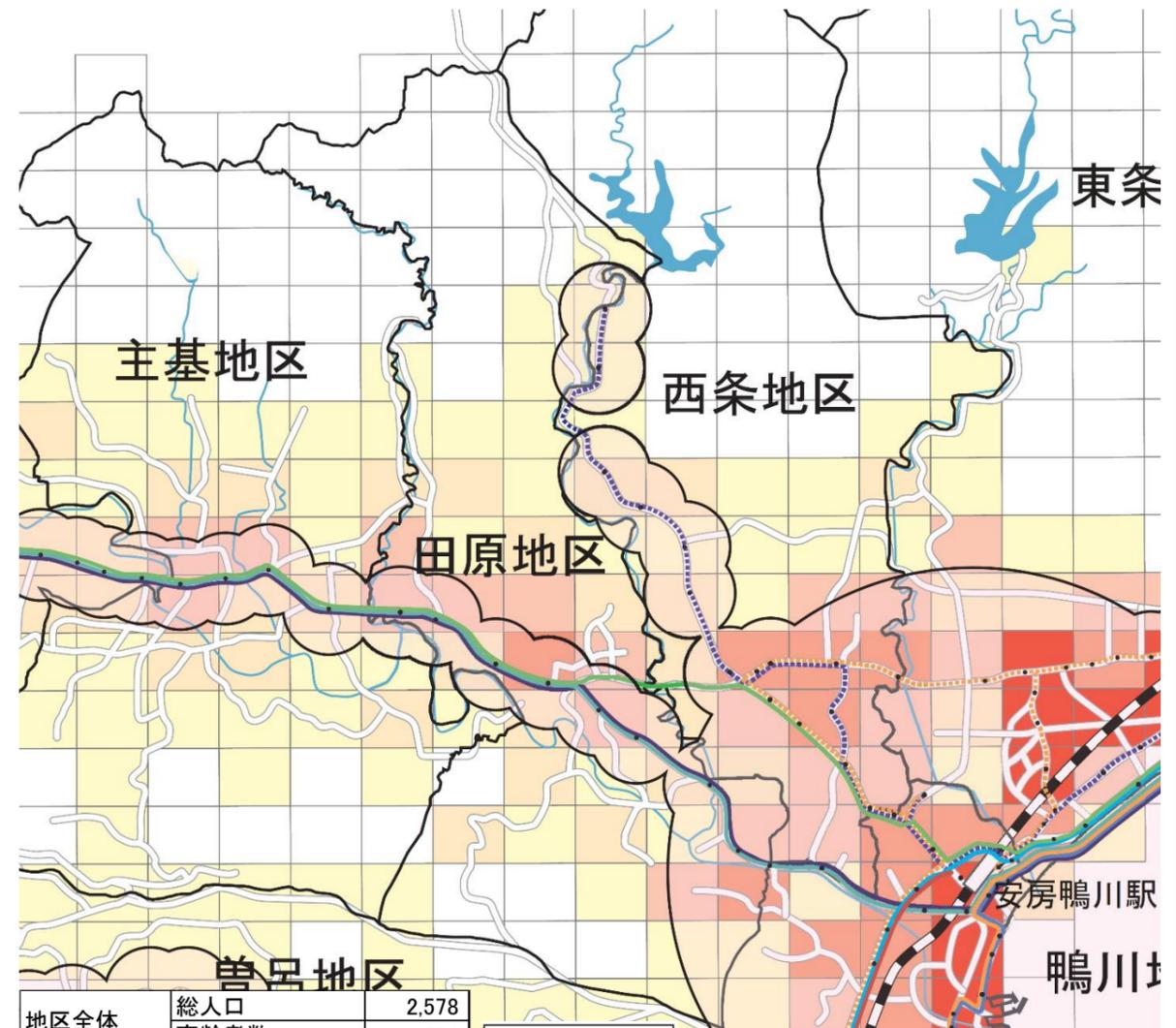
○鉄道：鉄道駅 なし
○路線バス (便数は往復運行で 1 便)
・金谷線 (亀田病院～東京湾フェリー) 4 便
・長狭線 (亀田病院～平塚本郷) 5 便
・木更津線 (亀田病院～イオンモール木更津) 5 便
○コミュニティバス：なし

外出目的別の主な行き先

○通勤・通学の場合…市内 49.1%、館山市 3.5%、南房総市 1.8%、その他の県内市町村 1.8%、通勤・通学していない 43.9%
○日常の買物の場合…おどや 42.3%、ベイシア鴨川 36.5%、イオン鴨川 17.3%、自宅周辺 3.8%
○通院の場合…亀田病院 58.5%、市立国保病院 13.2%、小田病院 5.7%、東条病院 1.9%、その他市内 18.9%、その他市外 1.9%
○公共施設利用の場合…鴨川市役所 76.5%、ふれあいセンター 9.8%、その他市内 11.8%、その他市外 2.0%



■田原地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



地区全体	総人口	2,578
	高齢者数	801
公共交通利用圏域内	総人口	1,156
	高齢者数	313
公共交通空白地域内	総人口	1,422
	高齢者数	488
	高齢化率	34.3%
	構成比	総人口 55.2% 高齢者数 60.9%

田原地区の特性・市民ニーズ

- 年齢3区分別人口割合は市平均と同様の傾向 (高齢化率は 12 地区中 10 位)
- 公共交通空白地域に占める割合は、総人口が 55.2%、高齢者が 60.9% と多い。
- 公共交通は路線バス・3 系統 (金谷線、長狭線、木更津線) が運行中
- 外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は 25.8% と、市平均 25.8% と同じで、行き先としては鉄道駅、亀田総合病院が高い。
- 今後の取り組みの方向性は、「現状より公共交通を充実させていくべきだ」が 30.6% と最も高い。
- 地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うし、送迎に協力したいが負担が大きい」と、「必要だと思うが、送迎はできない」がそれぞれ 29.0% と高い。

西条地区

地区概況
(H29.4.1現在)

○世帯数：1,288世帯、人口：3,012人 ○人口密度：198.4人/㎢（市：177.3人/㎢）
○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口10.0%、生産年齢人口53.2%、老年人口36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	461人	1,652人	899人
割合	15.3%	54.8%	29.8%

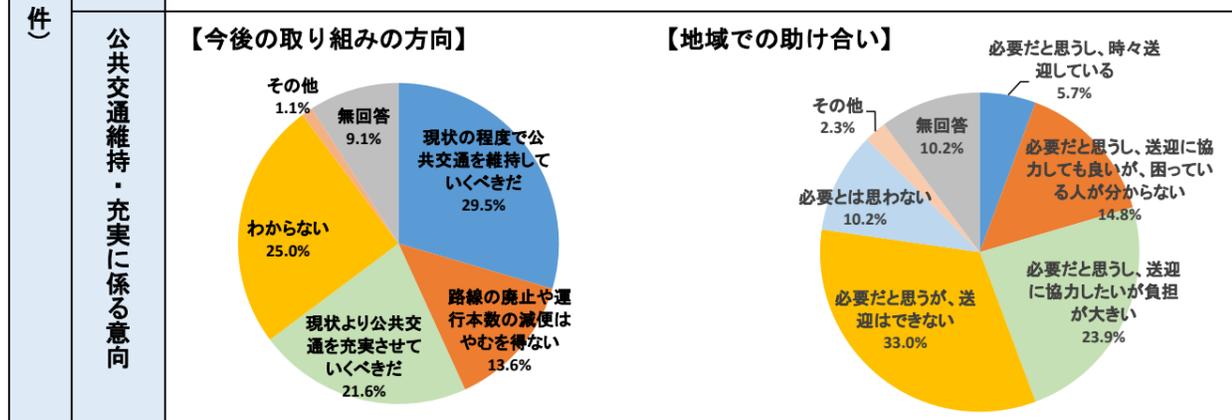
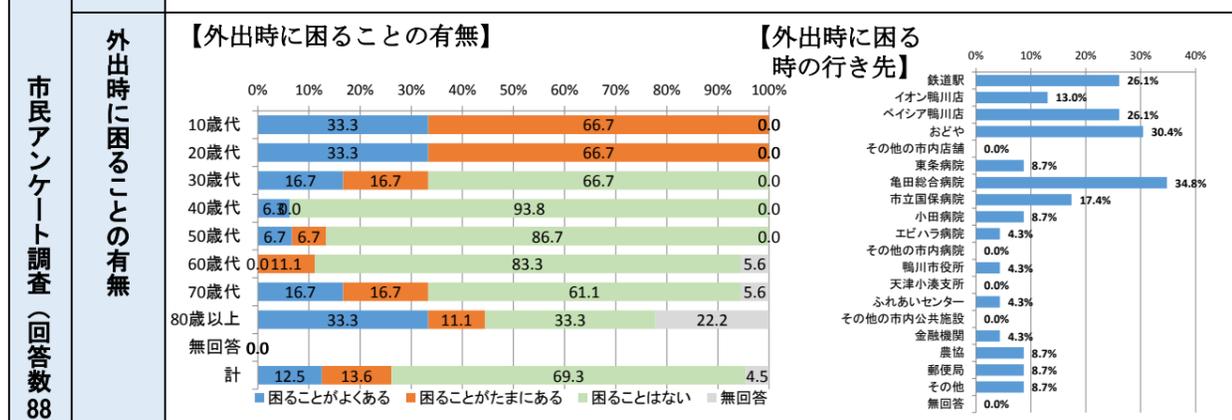
○人口分布
・鴨川地区に隣接する地区南部のエリアに人口が集中している。
・県道24号線及び181号線に沿って分布している。

公共交通の現状

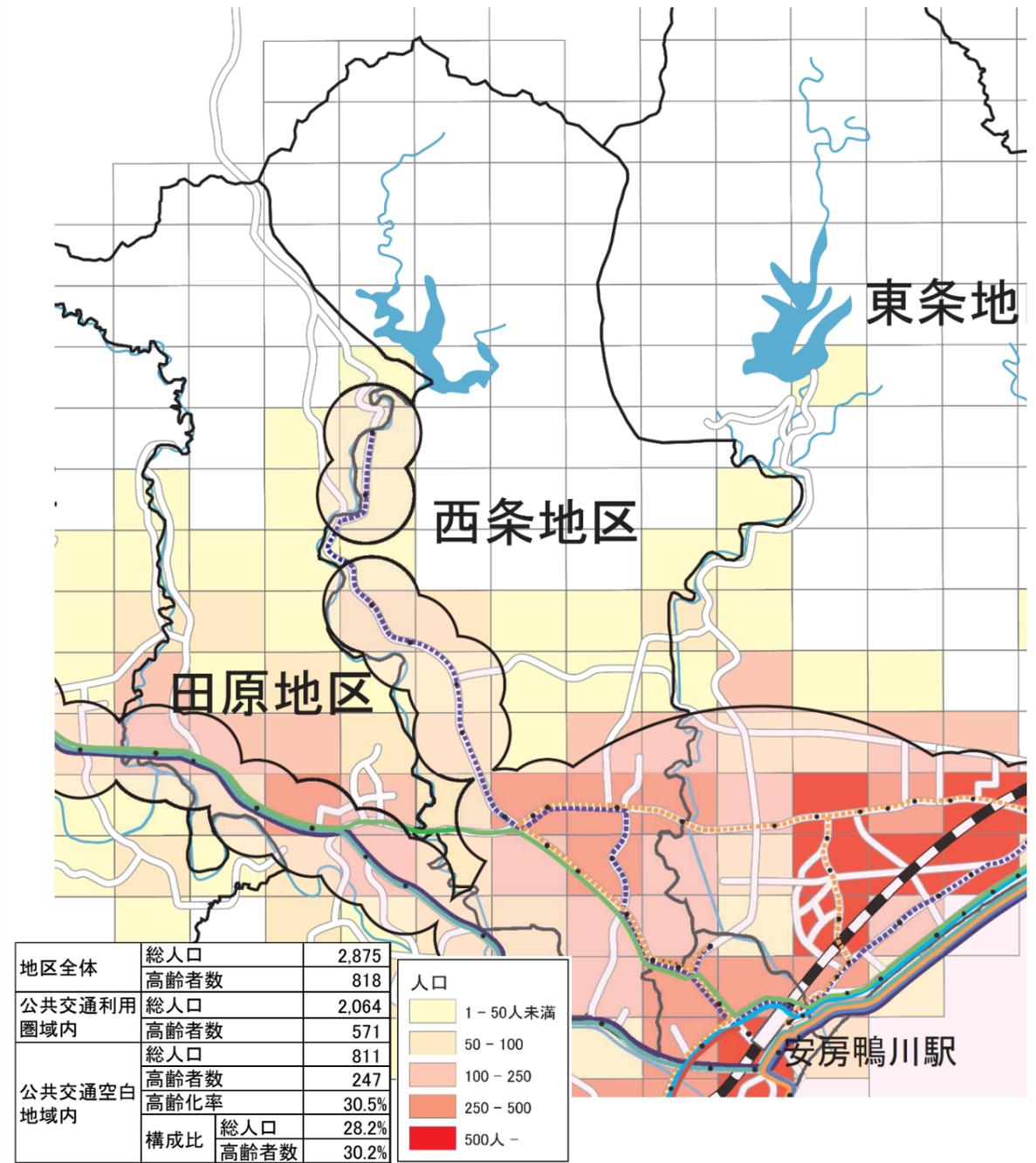
○鉄道：鉄道駅 なし
○路線バス（便数は往復運行で1便）
・金谷線（亀田病院～東京湾フェリー）4便 ・長狭線（亀田病院～平塚本郷）5便
・木更津線（亀田病院～イオンモール木更津）5便
○コミュニティバス
・北ルート 4便
・南ルート 5便

外出目的別の主な行き先

○通勤・通学の場合…市内43.9%、館山市3.7%、その他の県内市町村3.7%、君津・木更津市2.4%、千葉市2.4%、県外市町村1.2%、通勤・通学していない40.2%
○日常の買物の場合…おどや32.4%、ベイシア鴨川30.9%、イオン鴨川20.6%、自宅周辺8.8%、君津・木更津市4.4%、その他市外3.0%
○通院の場合…亀田総合病院67.5%、小田病院6.5%、東条病院5.2%、市立国保病院2.6%、その他市内15.8%、その他市外2.6%
○公共施設利用の場合…鴨川市役所75.6%、ふれあいセンター16.7%、その他市内7.7%、



■西条地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



西条地区の特性・市民ニーズ

- 年齢3区分別人口割合は年少人口、生産年齢人口が高く、老年人口で低い（高齢化率は12地区中11位）
- 公共交通空白地域に占める割合は、総人口が28.2%、高齢者が30.2%と多い。
- 公共交通は路線バス・1系統（木更津線）とコミュニティバス北ルートが運行中
- 外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は26.1%で、市平均25.8%と同様の傾向で、行き先としては亀田総合病院、おどや、鉄道駅、ベイシア鴨川店が高い。
- 今後の取り組みの方向性は、「現状の程度で公共交通を維持していくべきだ」が29.5%と最も高い。
- 地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが、送迎はできない」が33.0%と最も高い。

東条地区

地区概況
(H29.4.1現在)

○世帯数：3,565世帯、人口：6,846人 ○人口密度：259.2人/km²（市：177.3人/km²）
○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口10.0%、生産年齢人口53.2%、老年人口36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	808人	4,170人	1,868人
割合	11.8%	60.9%	27.3%

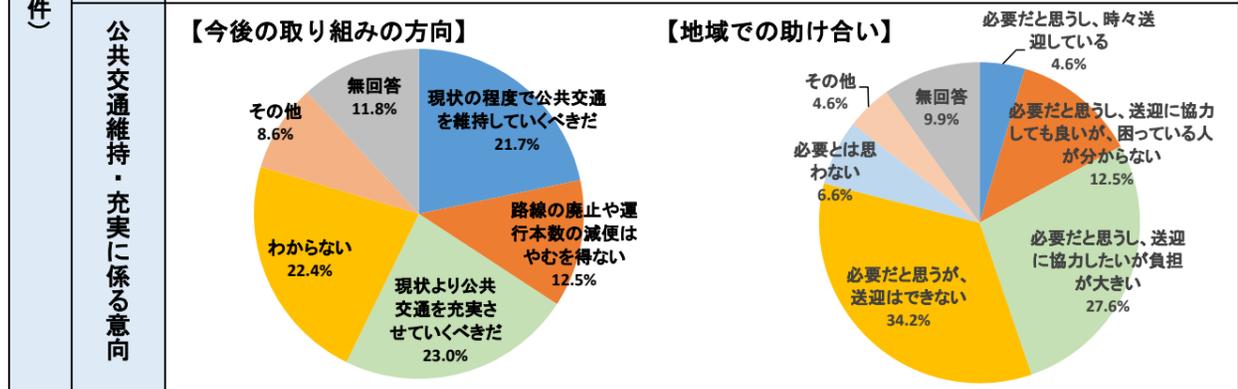
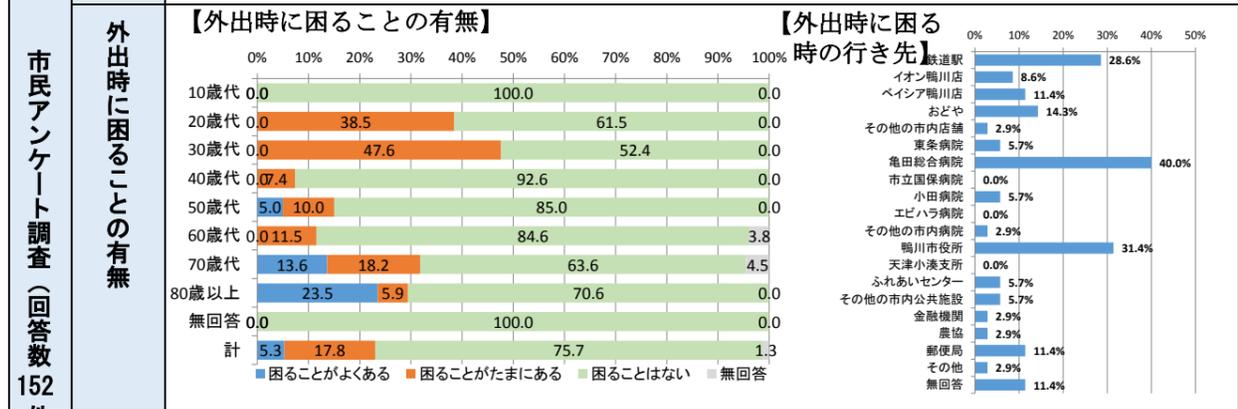
○人口分布
・地区南部を走行する鉄道（JR）沿いに人口が集中している。
・地区の北側（県道181号線より北側）のエリアの人口は少ない傾向にある。

公共交通の現状

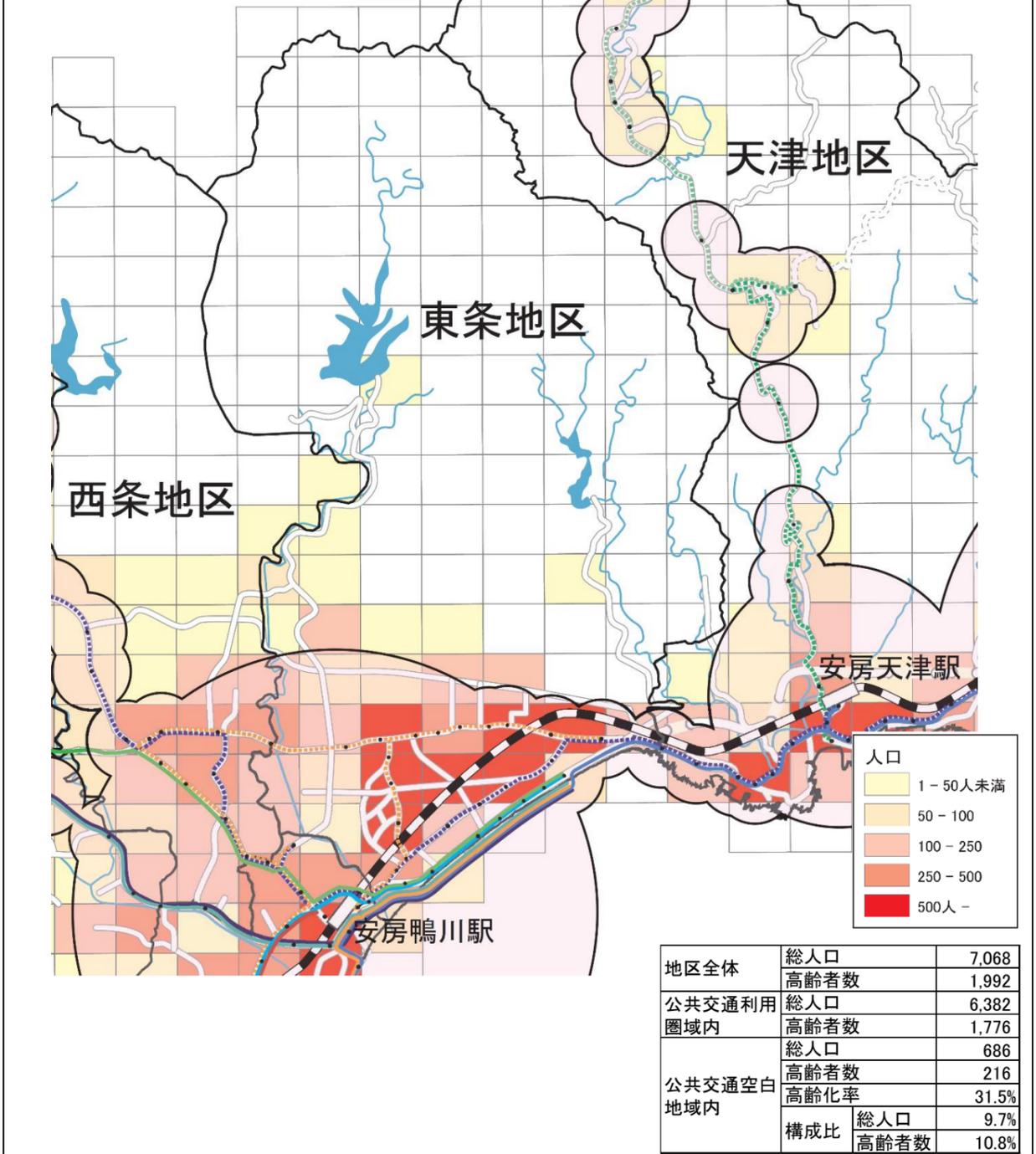
○鉄道：鉄道駅 なし
○路線バス（便数は往復運行で1便）
・市内線（仁右衛門島入口～興津駅）38.5便 ・長狭線（亀田病院～平塚本郷）5便
・金谷線（亀田病院～東京湾フェリー）4便 ・館山鴨川線（亀田病院～館山駅）6便
・安房白浜鴨川線（亀田病院～安房白浜）2便
・木更津線（亀田病院～イオンモール木更津）5便
○コミュニティバス
・北ルート 4便
・南ルート 5便

外出目的別の主な行き先

○通勤・通学の場合…市内58.2%、その他の県内市町村2.7%、館山市2.1%、君津市・木更津市2.1%、通勤・通学していない13.5%
○日常の買物の場合…おどや39.0%、ベイシア鴨川35.0%、イオン鴨川20.3%、自宅周辺4.9%
○通院の場合…亀田総合病院72.5%、東条病院14.5%、小田病院4.3%、その他市内5.8%
○公共施設利用の場合…鴨川市役所77.0%、ふれあいセンター9.0%、



■東条地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



東条地区の特性・市民ニーズ

- 年齢3区分別人口割合は年少人口、生産年齢人口が高く、老年人口で低い（高齢化率は12地区中12位）
- 公共交通空白地域に占める割合は、総人口が9.7%、高齢者が10.8%と少ない。
- 公共交通は路線バス・6系統（大学線、太海線以外）とコミュニティバス北ルート・南ルートが運行中
- 外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は23.1%で、市平均25.8%より若干低く、行き先としては亀田総合病院、鴨川市役所、鉄道駅が高い。
- 今後の取り組みの方向性は、「現状より公共交通を充実させていくべきだ」が23.0%と最も高い。
- 地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが、送迎はできない」が34.2%と最も高い。

鴨川地区

地区概況
(H29. 4. 1 現在)

○世帯数：2,932 世帯、人口：5,928 人 ○人口密度：1,385.0 人/km²（市：177.3 人/km²）
○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口 10.0%、生産年齢人口 53.2%、老年人口 36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	609 人	3,187 人	2,132 人
割合	10.3%	53.8%	36.0%

○人口分布
・全体的に鴨川駅周辺では人口が集中しており、地区の西側のエリアの人口は少ない。
・他の地区に比較すると、地区内全体に人口が分布している。

公共交通の現状

○鉄道：鉄道駅 安房鴨川駅

○路線バス（便数は往復運行で1便）

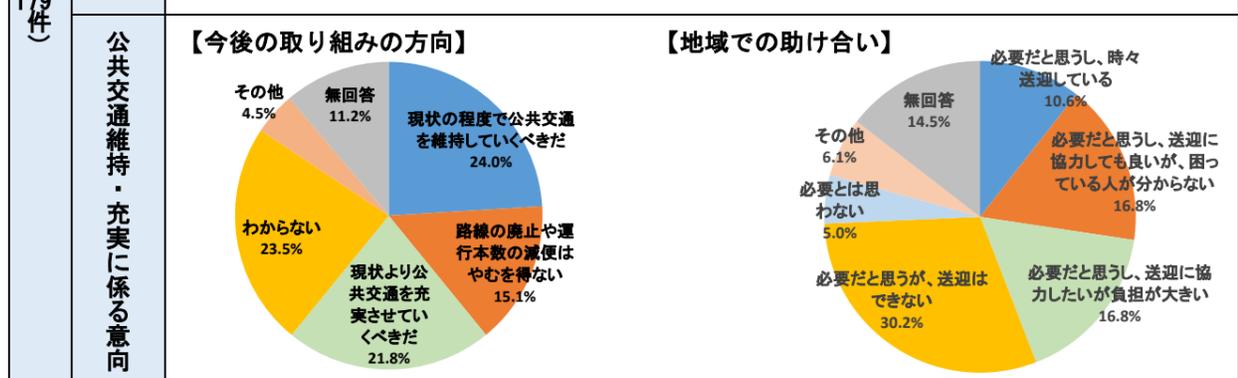
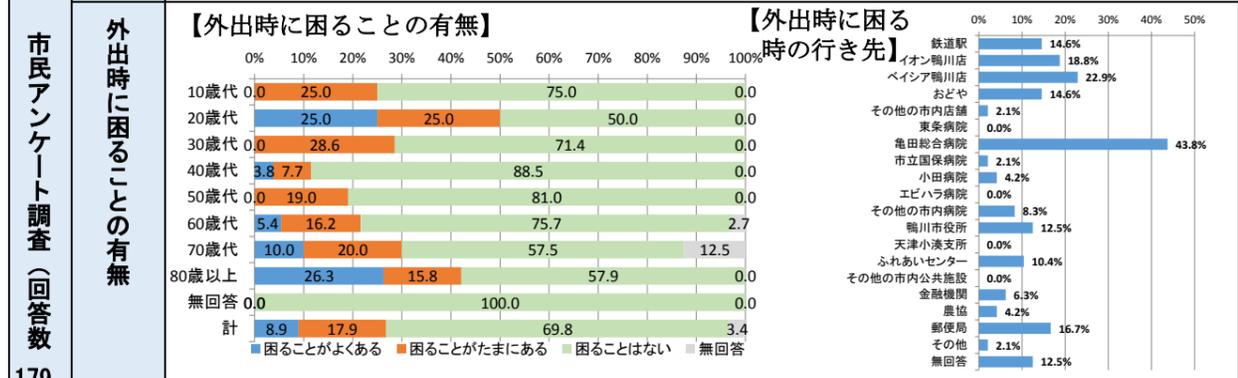
- ・市内線（仁右衛門島入口～興津駅）38.5 便 ・長狭線（亀田病院～平塚本郷）5 便
- ・金谷線（亀田病院～東京湾フェリー）4 便 ・館山鴨川線（亀田病院～館山駅）6 便
- ・安房白浜鴨川線（亀田病院～安房白浜）2 便 ・太海線（鴨川駅東口～太海公民館）4.5 便
- ・木更津線（亀田病院～イオンモール木更津）5 便
- ・大学線（鴨川駅西口～城西国際大学観光学部）7 便

○コミュニティバス

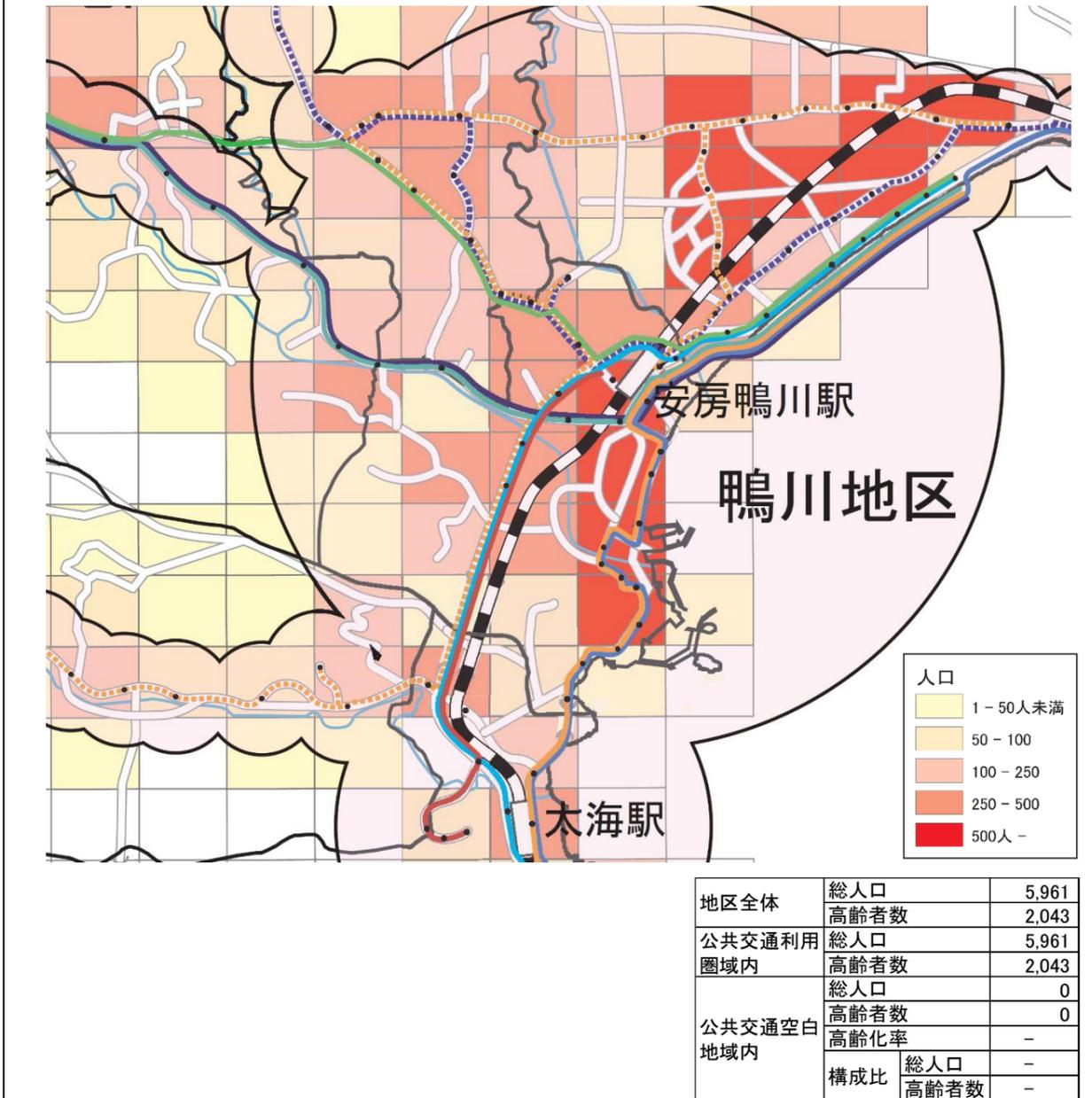
- ・北ルート 4 便 ・南ルート 5 便

外出目的別の主な行き先

○通勤・通学の場合…市内 50.3%、館山市 2.3%、通勤・通学していない 45.0%
○日常の買物の場合…ベイシア鴨川 37.0%、イオン鴨川 31.9%、おどや 24.5%、自宅周辺 4.3%、君津市 1.4%
○通院の場合…亀田総合病院 64.2%、小田病院 15.1%、その他市内 17.6%、東条病院 1.3%、市立国保病院 1.3%
○公共施設利用の場合…鴨川市役所 76.9%、その他市内 13.8%、ふれあいセンター 8.8%



■鴨川地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



鴨川地区の特性・市民ニーズ

- 年齢3区分別人口割合は市平均と同様の傾向（高齢化率は12地区中9位）
- 公共交通空白地域に占める割合は、0と全く無い。
- 公共交通は市内5駅で最も利用が多い安房鴨川駅や、路線バス・8系統（全系統）、コミュニティバス北ルート・南ルート、タクシーが運行中
- 外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は26.8%で、市平均25.8%と同様の傾向で、行き先としては亀田総合病院が高い。
- 今後の取り組みの方向性は、「現状の程度で公共交通を維持していくべきだ」が24.0%と最も高い。
- 地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが、送迎はできない」が30.2%と最も高い。

大山地区

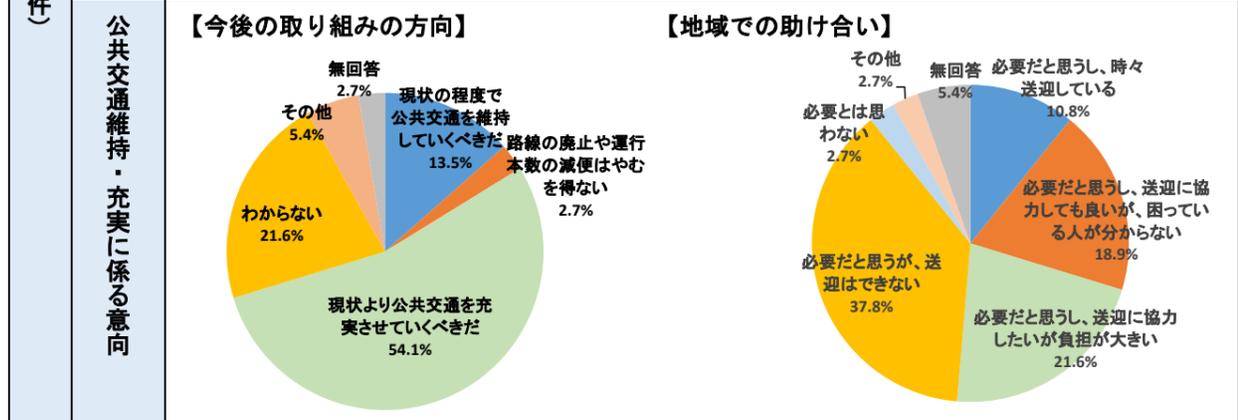
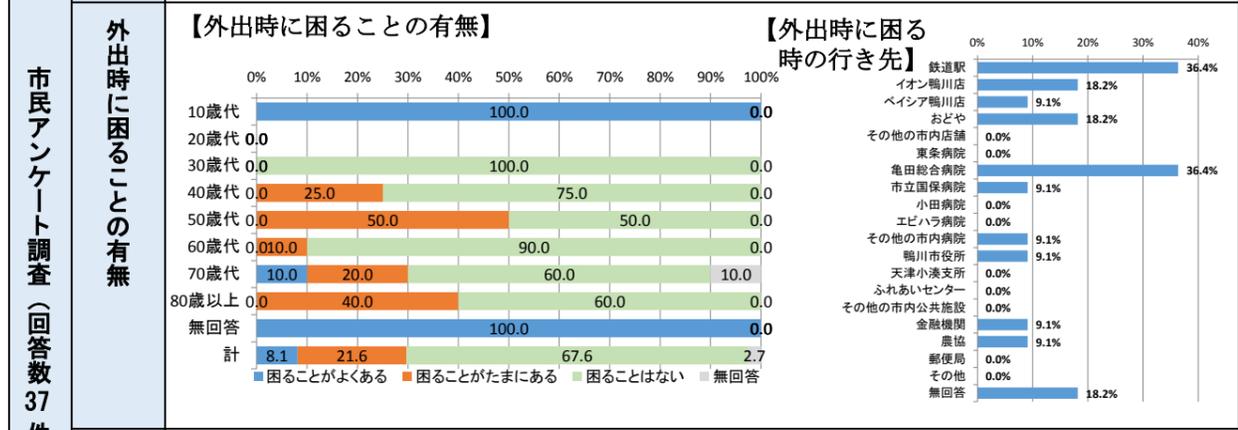
○世帯数：542 世帯、人口：1,224 人 ○人口密度：64.5 人/km²（市：177.3 人/km²）
 ○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口 10.0%、生産年齢人口 53.2%、老年人口 36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	95 人	558 人	571 人
割合	7.8%	45.6%	46.7%

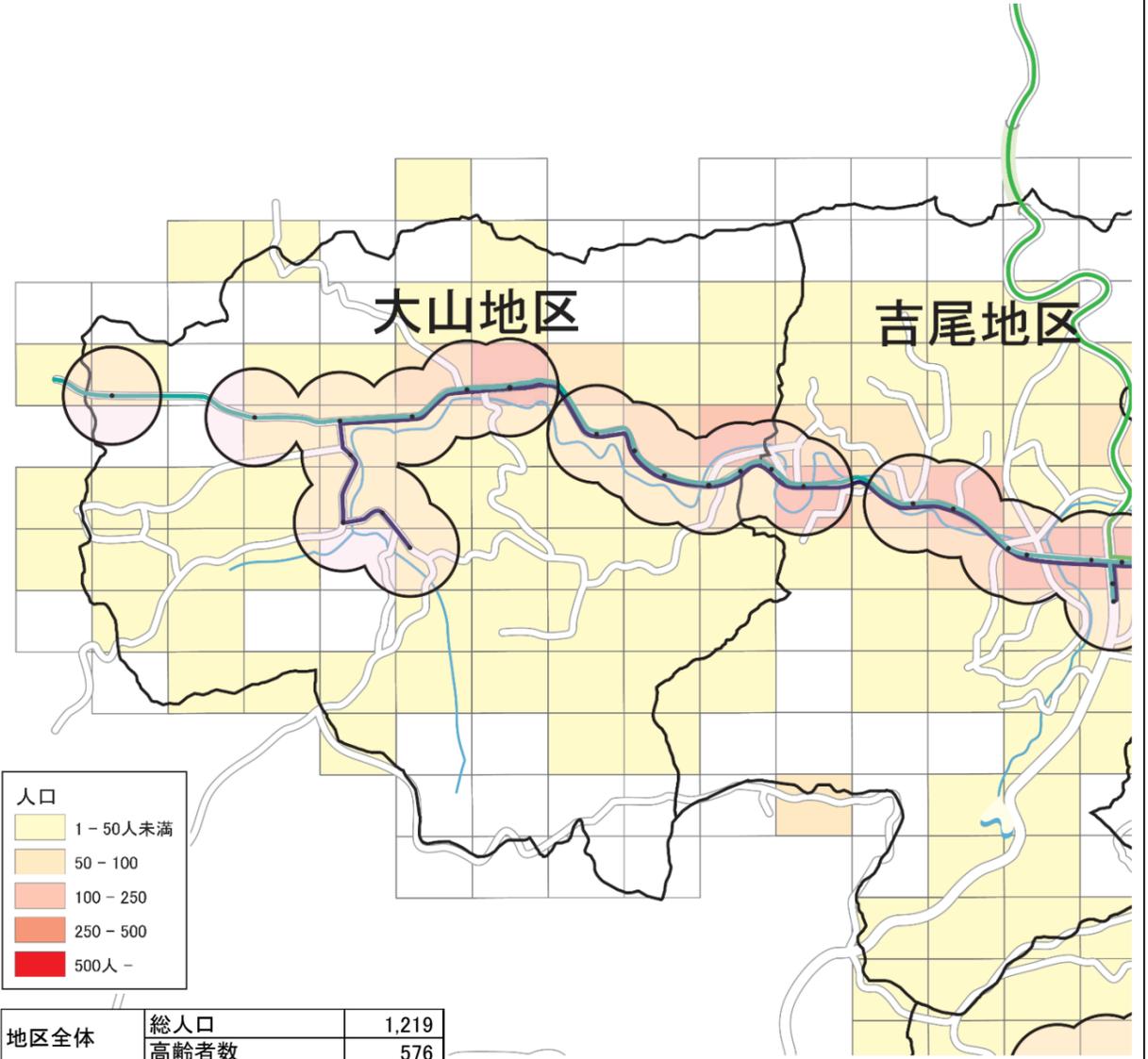
○人口分布
 ・鴨川市西部の山間地区にあたり、県道 34 号線及び地区内の主要道路沿いに集落が分散している。

○鉄道：鉄道駅 なし
 ○路線バス（便数は往復運行で 1 便）
 ・金谷線（亀田病院～東京湾フェリー）4 便
 ・長狭線（亀田病院～平塚本郷）5 便
 ○コミュニティバス：なし

○通勤・通学の場合…市内 32.4%、館山市 5.4%、その他の県内市町村 5.4%、勝浦市 2.7%、君津市・木更津市 2.7%、県外市町村 2.7%、通勤・通学していない 48.6%
 ○日常の買物の場合…おどや 55.9%、ベイシア鴨川 23.5%、イオン鴨川 8.8%、自宅周辺 8.8%、館山市 2.9%
 ○通院の場合…亀田総合病院 56.3%、市立国保病院 25.0%、その他市内 15.6%、その他市外 3.1%
 ○公共施設利用の場合…鴨川市役所 71.0%、その他市内 22.6%、ふれあいセンター 3.2%、その他市外 3.2%



■大山地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



地区全体	総人口	1,219
	高齢者数	576
公共交通利用圏域内	総人口	569
	高齢者数	258
公共交通空白地域内	総人口	650
	高齢者数	318
	高齢化率	48.9%
	構成比	総人口 53.3% 高齢者数 55.2%

大山地区の特性・市民ニーズ

○年齢3区分別人口割合は老年人口が高く、年少人口、生産年齢人口で低い（高齢化率は 12 地区中 1 位）
 ○公共交通空白地域に占める割合は、総人口が 53.3%、高齢者が 55.2%と多い。
 ○公共交通は路線バス・2 系統（金谷線、長狭線）が運行中
 ○外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は 29.7%で、市平均 25.8%より高く、行き先としては亀田総合病院、鉄道駅が高い。
 ○今後の取り組みの方向性は、「現状より公共交通を充実させていくべきだ」が 54.1%と最も高い。
 ○地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが送迎はできない」が 37.8%と最も高い。

吉尾地区

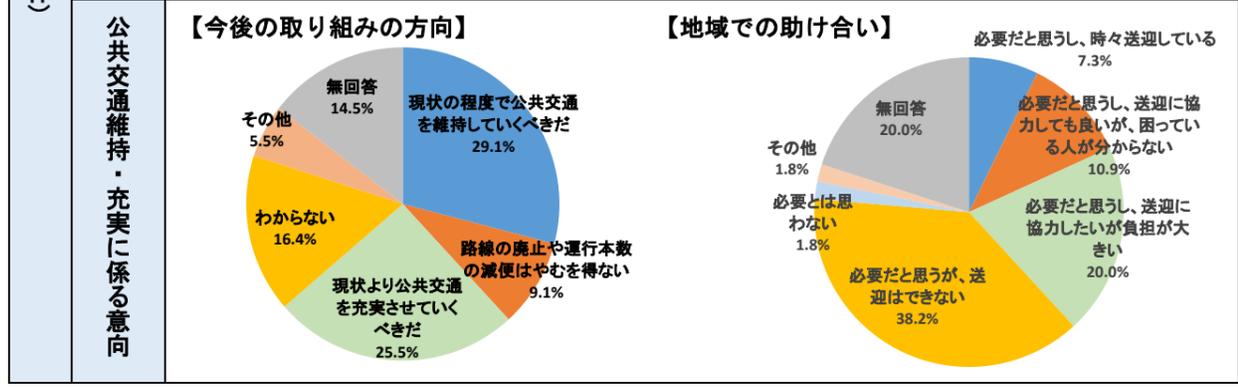
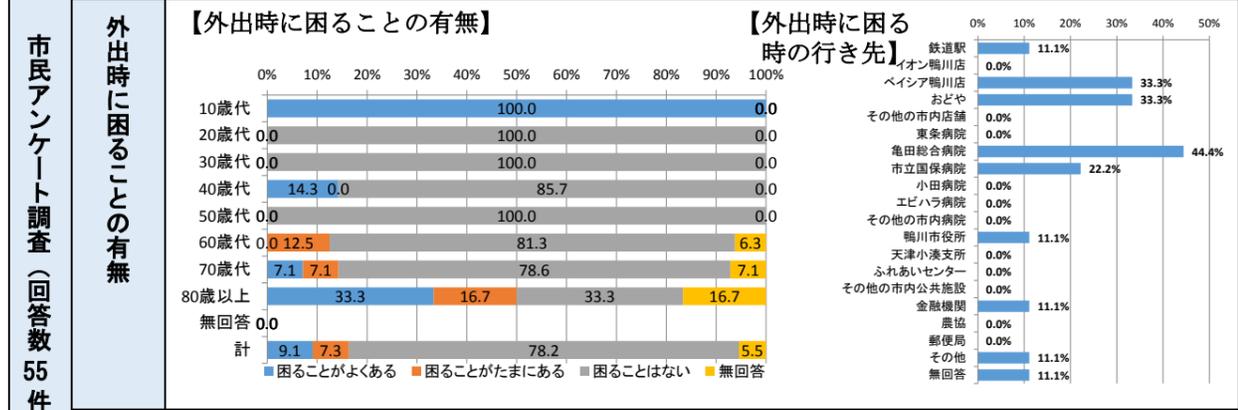
○世帯数：889 世帯、人口：1,797 人 ○人口密度：103.2 人/km²（市：177.3 人/km²）
 ○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口 10.0%、生産年齢人口 53.2%、老年人口 36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	142 人	830 人	825 人
割合	7.9%	46.2%	45.9%

○人口分布
 ・鴨川市西部の山間地区であり、県道 34 号線及びその道路に接続する道路沿いに集落が分散している。
 ・地区全体として人口集積は低い。

○鉄道：鉄道駅 なし
 ○路線バス（便数は往復運行で 1 便）
 ・金谷線（亀田病院～東京湾フェリー） 4 便
 ・長狭線（亀田病院～平塚本郷） 5 便
 ・木更津線（亀田病院～イオンモール木更津） 5 便
 ○コミュニティバス：なし

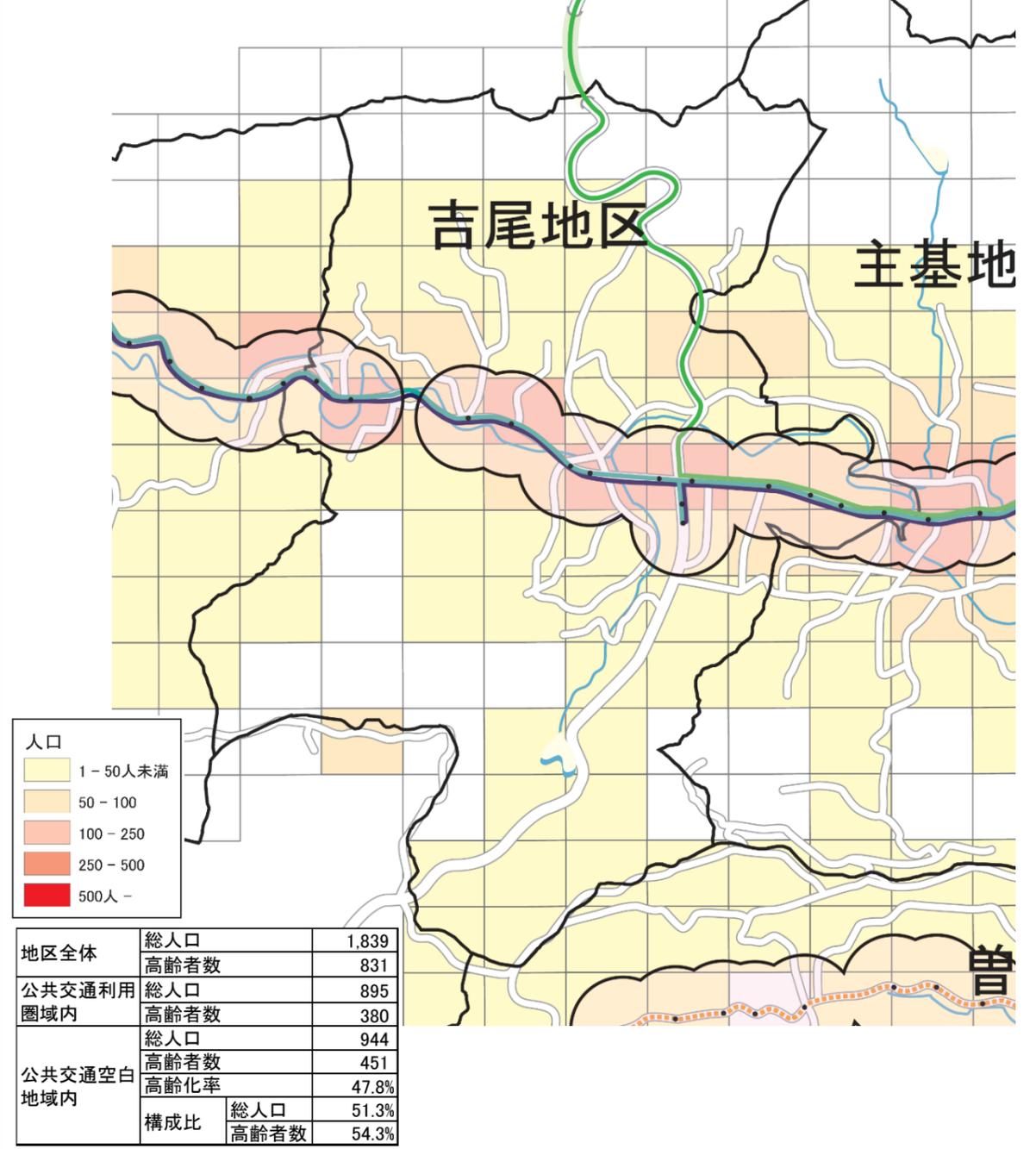
○通勤・通学の場合…市内 42.9%、その他の県内市町村 4.1%、君津市・木更津市 2.0%、県外市町村 2.0%、通勤・通学していない 49.0%
 ○日常の買物の場合…おどや 68.1%、ベイシア鴨川 14.9%、イオン鴨川 6.4%、自宅周辺 4.3%、その他市外 4.3%、君津市・木更津市 2.1%
 ○通院の場合…亀田総合病院 57.8%、市立国保病院 31.1%、その他市内 4.4%、東条病院 2.2%、小田病院 2.2%、その他市外 2.2%
 ○公共施設利用の場合…鴨川市役所 72.2%、その他市内 16.7%、ふれあいセンター 11.1%



市民アンケート調査（回答数 55 件）

公共交通維持・充実に係る意向

■吉尾地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



吉尾地区の特性・市民ニーズ

○年齢3区分別人口割合は老年人口が高く、年少人口、生産年齢人口で低い（高齢化率は 12 地区中 3 位）
 ○公共交通空白地域に占める割合は、総人口が 51.3%、高齢者が 54.3% と多い。
 ○公共交通は路線バス・3 系統（金谷線、長狭線、木更津線）が運行中
 ○外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は 16.4% で、市平均 25.8% より低く、行き先としては亀田総合病院、ベイシア鴨川店、おどやが高い。
 ○今後の取り組みの方向性は、「現状の程度で公共交通を維持していきべきだ」が 29.1% と最も高い。
 ○地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが、送迎はできない」が 38.2% と最も高い。

主基地区

地区概況
(H29.4.1現在)

○世帯数：693世帯、人口：1,562人 ○人口密度：88.4人/㎢（市：177.3人/㎢）
○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口10.0%、生産年齢人口53.2%、老年人口36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	133人	781人	648人
割合	8.5%	50.0%	41.5%

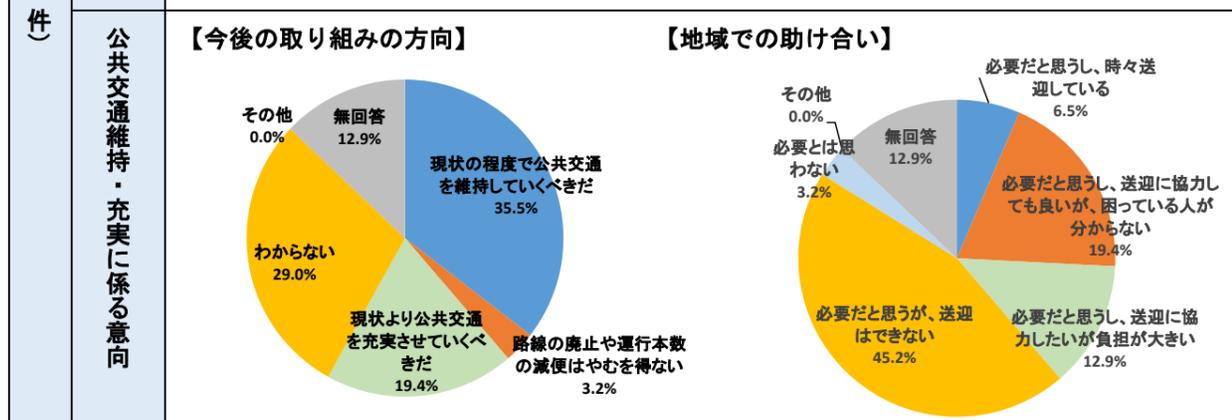
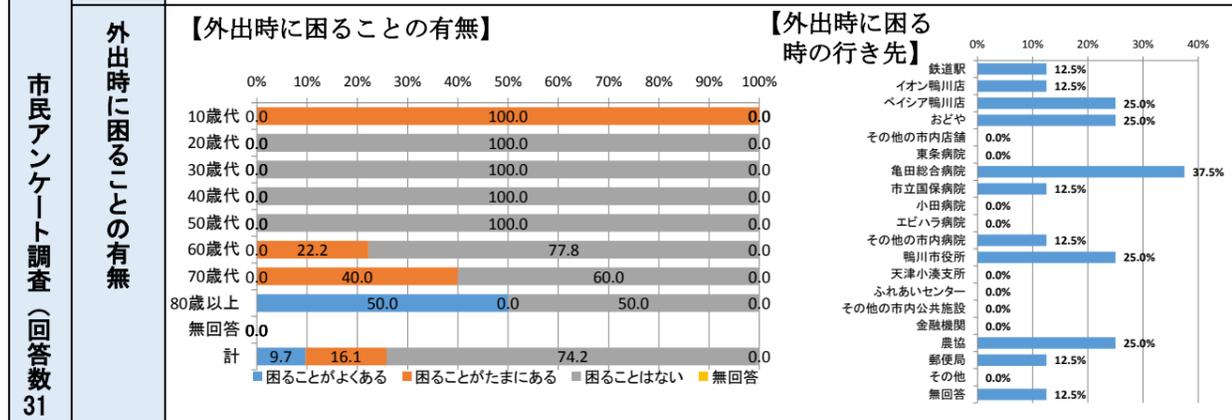
○人口分布
・鴨川市西部の山間地区であり、県道34号線及びその道路に接続する道路沿いに集落が分散している。
・地区全体として人口集積は低い。

公共交通の現状

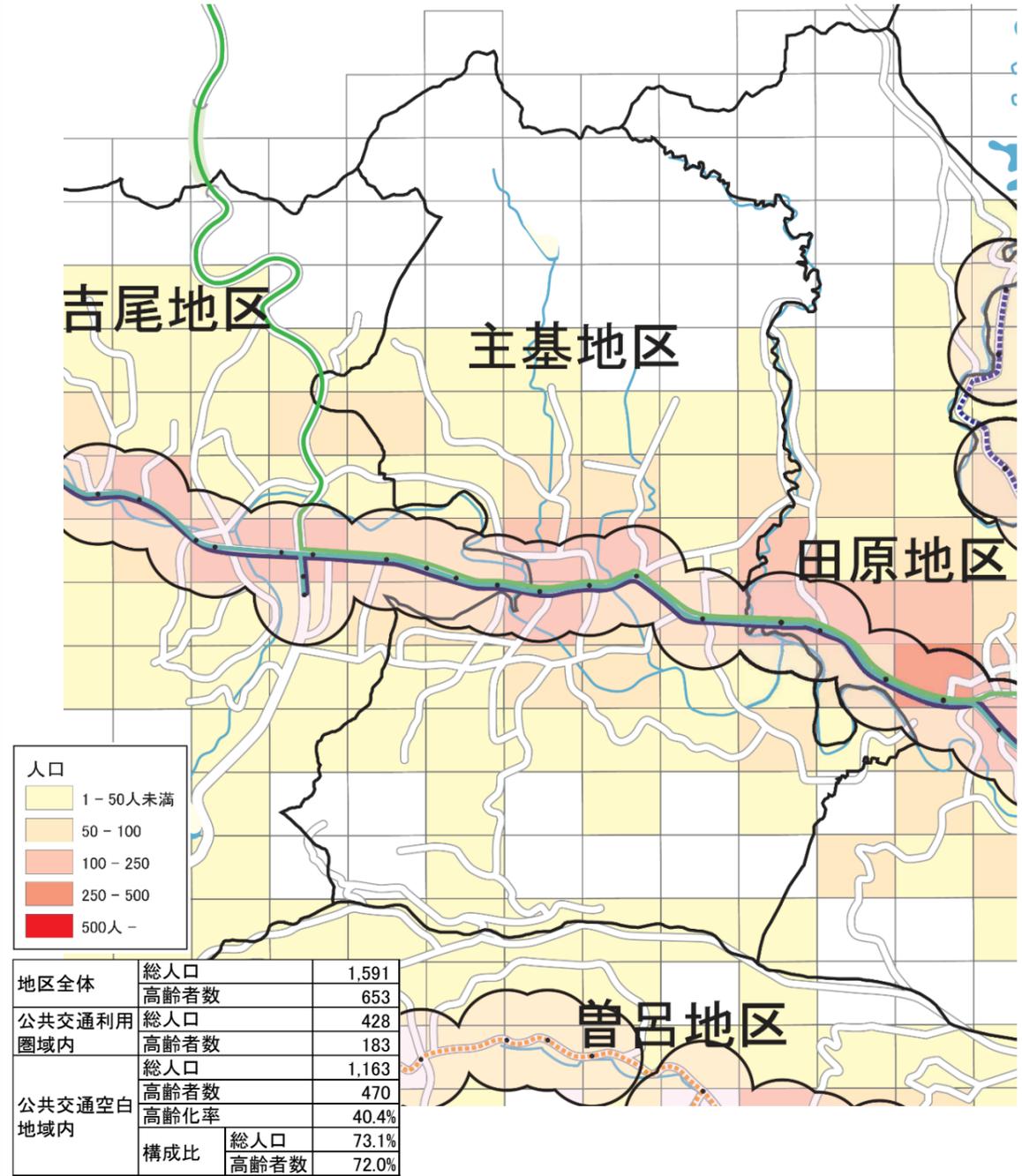
○鉄道：鉄道駅 なし
○路線バス（便数は往復運行で1便）
・金谷線（亀田病院～東京湾フェリー）4便
・長狭線（亀田病院～平塚本郷）5便
・木更津線（亀田病院～イオンモール木更津）5便
○コミュニティバス なし

外出目的別の主な行き先

○通勤・通学の場合…市内30.0%、君津市・木更津市6.7%、勝浦市3.3%、通勤・通学していない60.0%
○日常の買物の場合…おどや63.0%、ベイシア鴨川14.8%、イオン鴨川11.1%、自宅周辺3.7%、君津市・木更津市3.7%、館山市3.7%
○通院の場合…亀田総合病院60.0%、市立国保病院30.0%、その他市内6.7%、小田病院3.3%
○公共施設利用の場合…鴨川市役所76.9%、その他市内15.4%、ふれあいセンター7.7%



■主基地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



主基地区の特徴・市民ニーズ

○年齢3区分別人口割合は老年人口が高く、年少人口、生産年齢人口で低い（高齢化率は12地区中7位）
○公共交通空白地域に占める割合は、総人口が73.1%、高齢者が72.0%と多い。
○公共交通は路線バス・3系統（金谷線、長狭線、木更津線）が運行中
○外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は25.8%で、市平均25.8%と同様の傾向で、行き先としては亀田総合病院が高い。
○今後の取り組みの方向性は、「現状の程度で公共交通を維持していきべきだ」が35.5%と最も高い。
○地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが、送迎はできない」が45.2%と最も高い。

江見地区

地区概況
(H29.4.1現在)

○世帯数：793世帯、人口：1,562人 ○人口密度：214.6人/㎢（市：177.3人/㎢）
○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口10.0%、生産年齢人口53.2%、老年人口36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	130人	810人	711人
割合	7.9%	49.1%	43.1%

○人口分布
・海側のエリアにおいて、江見駅及び鉄道沿いに人口が集中している。
・山間部に向かう県道272号線沿いには、低密に人口が集積している。

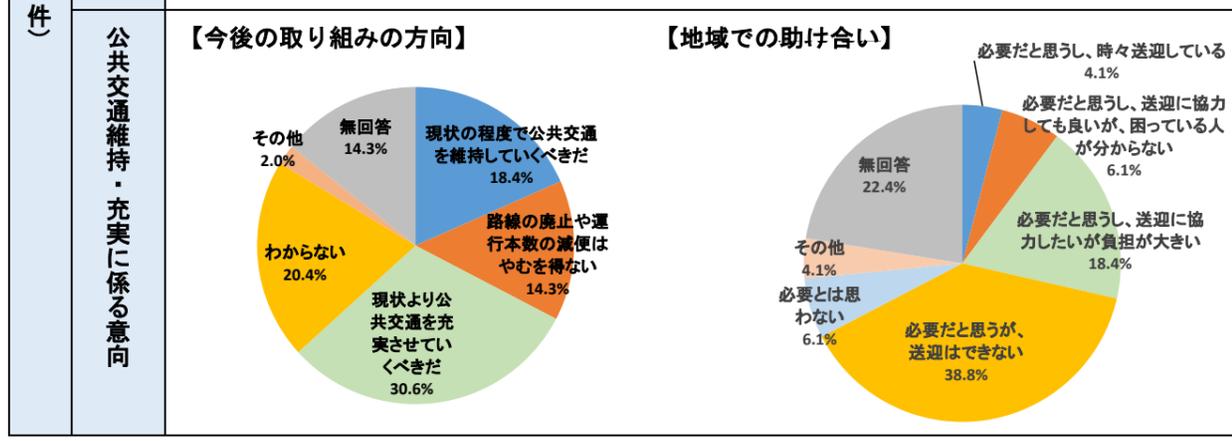
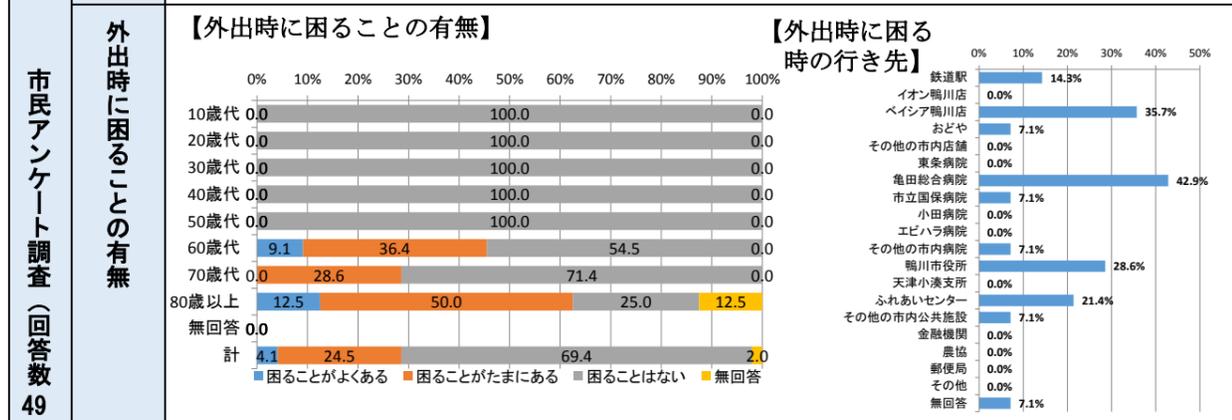
公共交通の現状

○鉄道：鉄道駅 江見駅
○路線バス（便数は往復運行で1便）
・館山鴨川線（亀田病院～館山駅）6便
・安房白浜鴨川線（亀田病院～安房白浜）2便
○コミュニティバス：なし

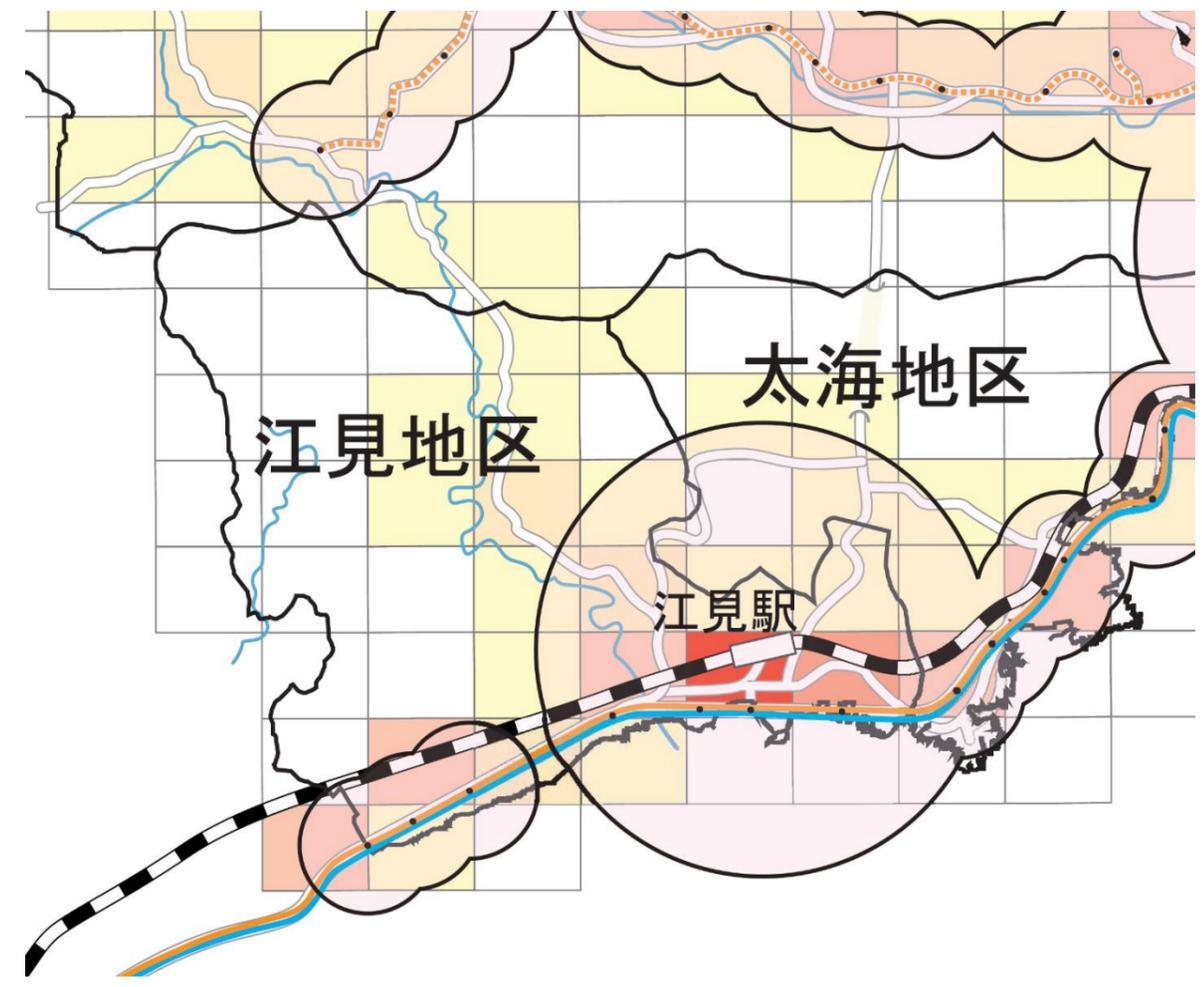
市民アンケート調査（回答数49件）

外出目的別の主な行き先

○通勤・通学の場合…市内33.3%、南房総市2.2%、通勤・通学していない64.4%
○日常の買物の場合…おどや37.8%、ベイシア鴨川35.1%、イオン鴨川8.1%、自宅周辺16.2%、館山市2.7%
○通院の場合…亀田総合病院55.5%、その他市内17.5%、その他市外12.5%、小田病院10.0%、東条病院2.2%、市立国保病院2.2%、
○公共施設利用の場合…鴨川市役所72.2%、その他市内22.2%、ふれあいセンター2.8%、その他市外2.8%



■江見地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



地区全体	総人口	1,524
	高齢者数	651
公共交通利用圏域内	総人口	1,221
	高齢者数	528
公共交通空白地域内	総人口	303
	高齢者数	123
	高齢化率	40.6%
	構成比	総人口 19.9% 高齢者数 18.9%

江見地区の特性・市民ニーズ

○年齢3区分別人口割合は老年人口が高く、年少人口、生産年齢人口で低い（高齢化率は12地区中5位）
○公共交通空白地域に占める割合は、総人口が19.9%、高齢者が18.9%とやや多い。
○公共交通は鉄道駅・江見駅や、路線バス・2系統（館山鴨川線、安房白浜鴨川線）が運行中
○外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は28.6%で、市平均25.8%より高く、行き先としては亀田総合病院、ベイシア鴨川店が高い。
○今後の取り組みの方向性は、「現状より公共交通を充実させていくべきだ」が30.6%と最も高い。
○地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが、送迎はできない」が38.8%と最も高い。

曾呂地区

○世帯数：688 世帯、人口：1,515 人 ○人口密度：81.7 人/km²（市：177.3 人/km²）
 ○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口 10.0%、生産年齢人口 53.2%、老年人口 36.8%）

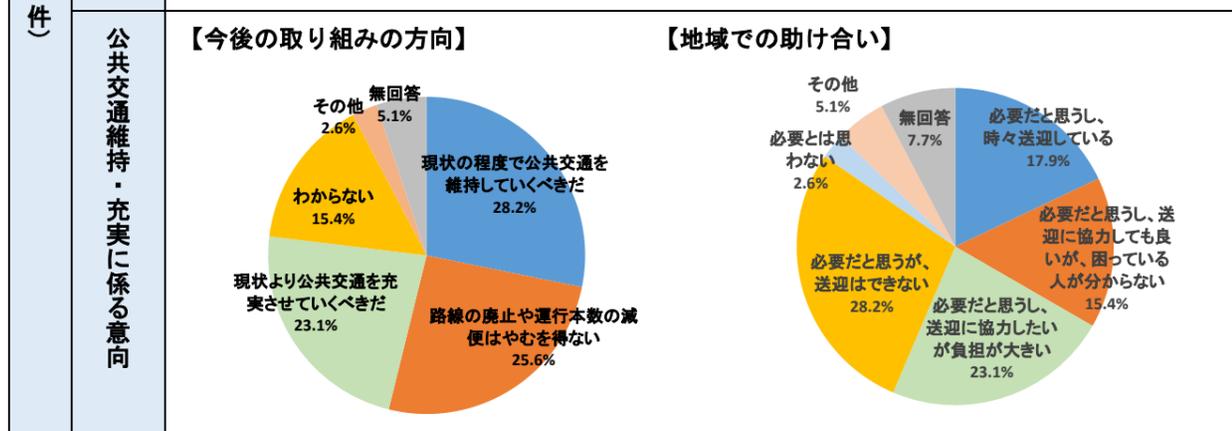
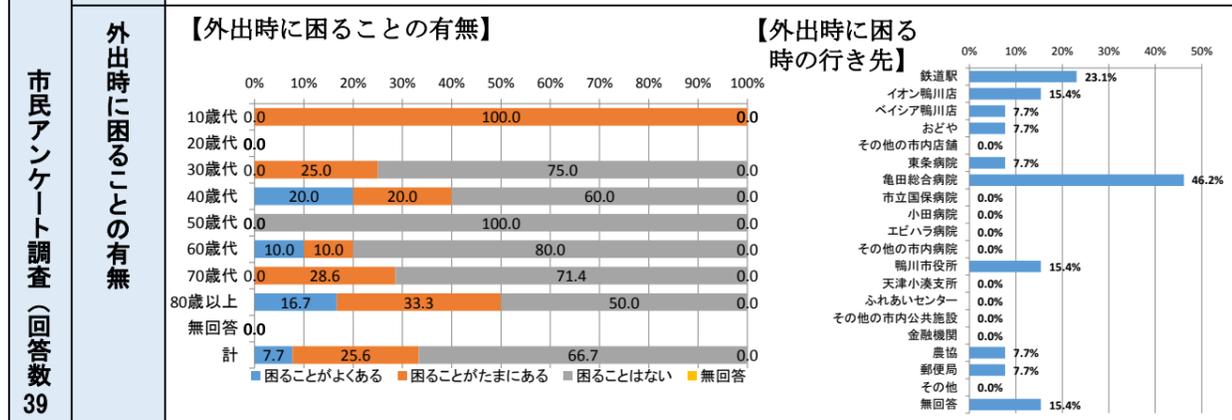
	年少人口	生産人口	老年人口
人口	122 人	716 人	677 人
割合	8.1%	47.3%	44.7%

○人口分布
 ・県道 89 号線及び地区内主要道路沿いに、低密に人口が集積している。

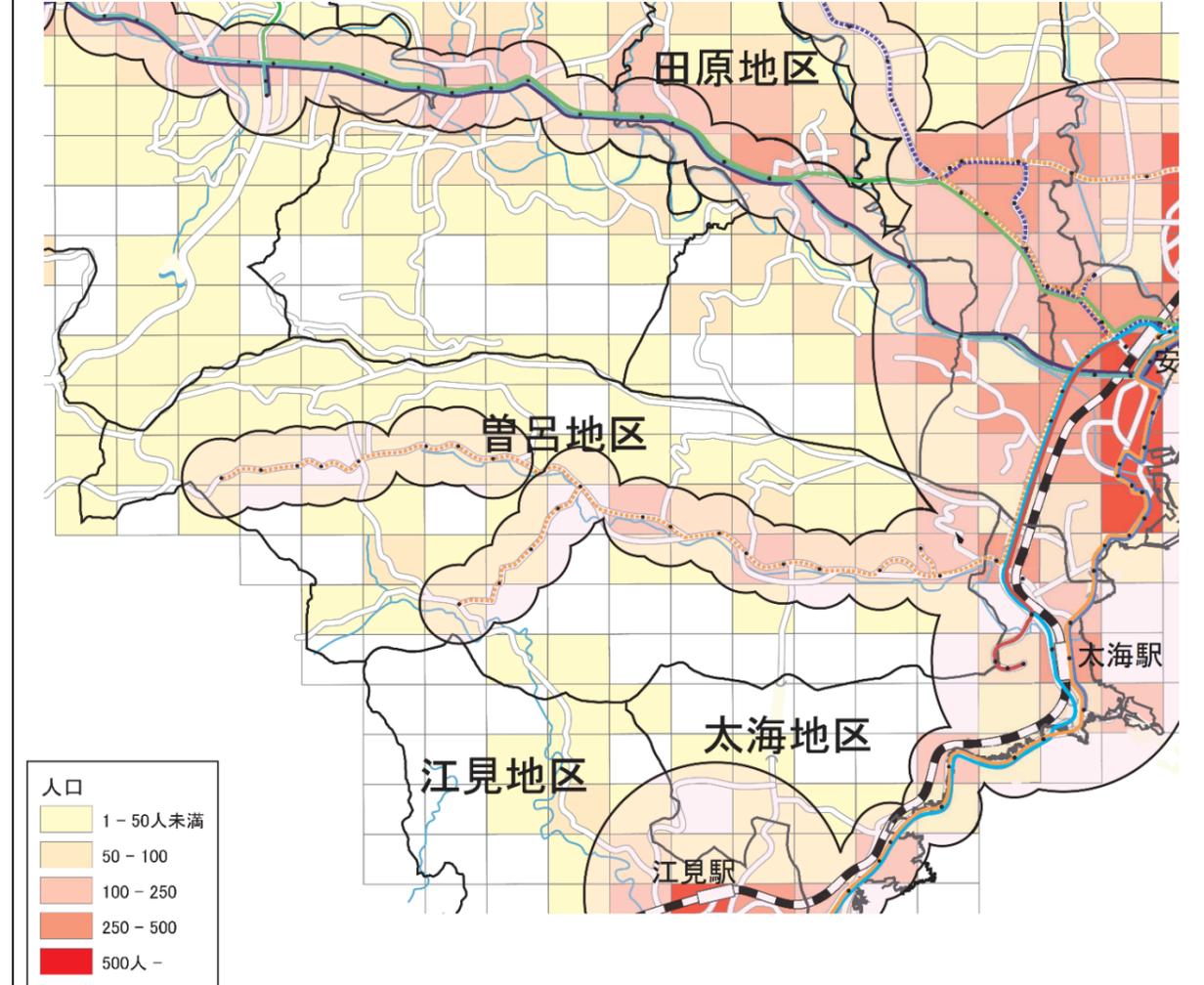
○鉄道：鉄道駅 なし
 ○路線バス：なし
 ○コミュニティバス
 ・南ルート 5 便

外出目的別の主な行き先

○通勤・通学の場合…市内 52.6%、館山市 5.3%、その他の県内市町村 2.6%、通勤・通学していない 39.5%
 ○日常の買物の場合…ベイシア鴨川 43.8%、おどや 34.4%、イオン鴨川 12.5%、自宅周辺 6.3%、館山市 3.1%
 ○通院の場合…亀田総合病院 40.5%、その他市内 24.3%、市立国保病院 16.2%、小田病院 8.1%、東条病院 5.4%、その他市外 5.4%
 ○公共施設利用の場合…鴨川市役所 82.1%、その他市内 7.1%、天津小湊支所 3.6%、ふれあいセンター 3.6%、その他市外 3.6%



■曾呂地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



地区全体	総人口	1,467
	高齢者数	627
公共交通利用圏域内	総人口	780
	高齢者数	325
公共交通空白地域内	総人口	687
	高齢者数	302
	高齢化率	44.0%
構成比	総人口	46.8%
	高齢者数	48.2%

曾呂地区の特性・市民ニーズ

- 年齢3区分別人口割合は老年人口が高く、年少人口、生産年齢人口で低い（高齢化率は12地区中4位）
- 公共交通空白地域に占める割合は、総人口が46.8%、高齢者が48.2%と多い。
- 公共交通はコミュニティバス南ルートが運行中
- 外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は26.1%で、市平均25.8%と同様の傾向で、若年層や80歳以上で高く、行き先としては亀田総合病院、おどや、鉄道駅、ベイシア鴨川店が高い。
- 今後の取り組みの方向性は、「現状の程度で公共交通を維持していくべきだ」が28.2%と最も高い。
- 地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが送迎はできない」が28.2%と最も高い。

市民アンケート調査（回答数39件）

太海地区

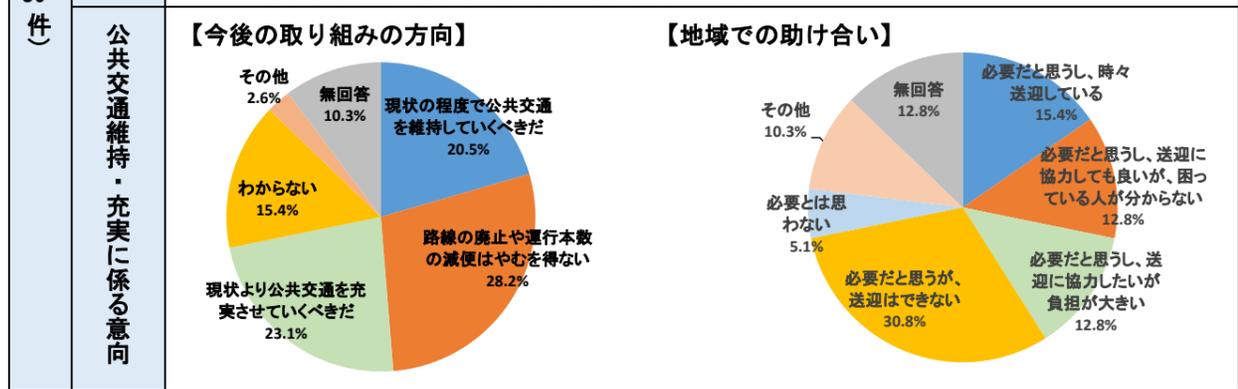
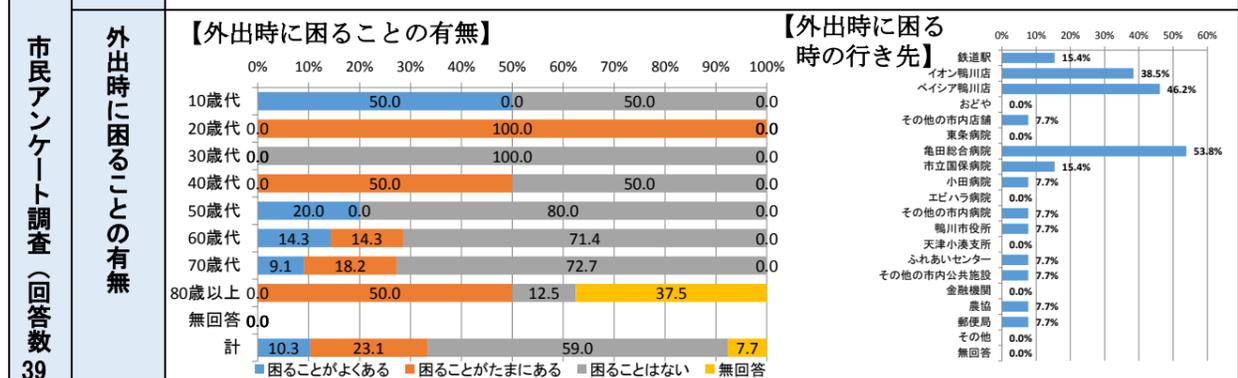
○世帯数：893 世帯、人口：1,793 人 ○人口密度：255.6 人/km²（市：177.3 人/km²）
 ○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口 10.0%、生産年齢人口 53.2%、老年人口 36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	125 人	870 人	744 人
割合	7.2%	50.0%	42.8%

○人口分布
 ・海側のエリアにおいて、鉄道沿いに人口が集中している。
 ・地区内主要道路沿いに、低密に人口が集積している。

○鉄道：鉄道駅 太海駅
 ○路線バス（便数は往復運行で1便）
 ・市内線（仁右衛門島入口～興津駅）18 便
 ・館山鴨川線（亀田病院～館山駅）6 便
 ・安房白浜鴨川線（亀田病院～安房白浜）2 便
 ・大学線（鴨川駅西口～城西国際大学観光学部）7 便
 ・太海線（鴨川駅東口～太海公民館）4.5 便
 ○コミュニティバス
 ・南ルート 5 便

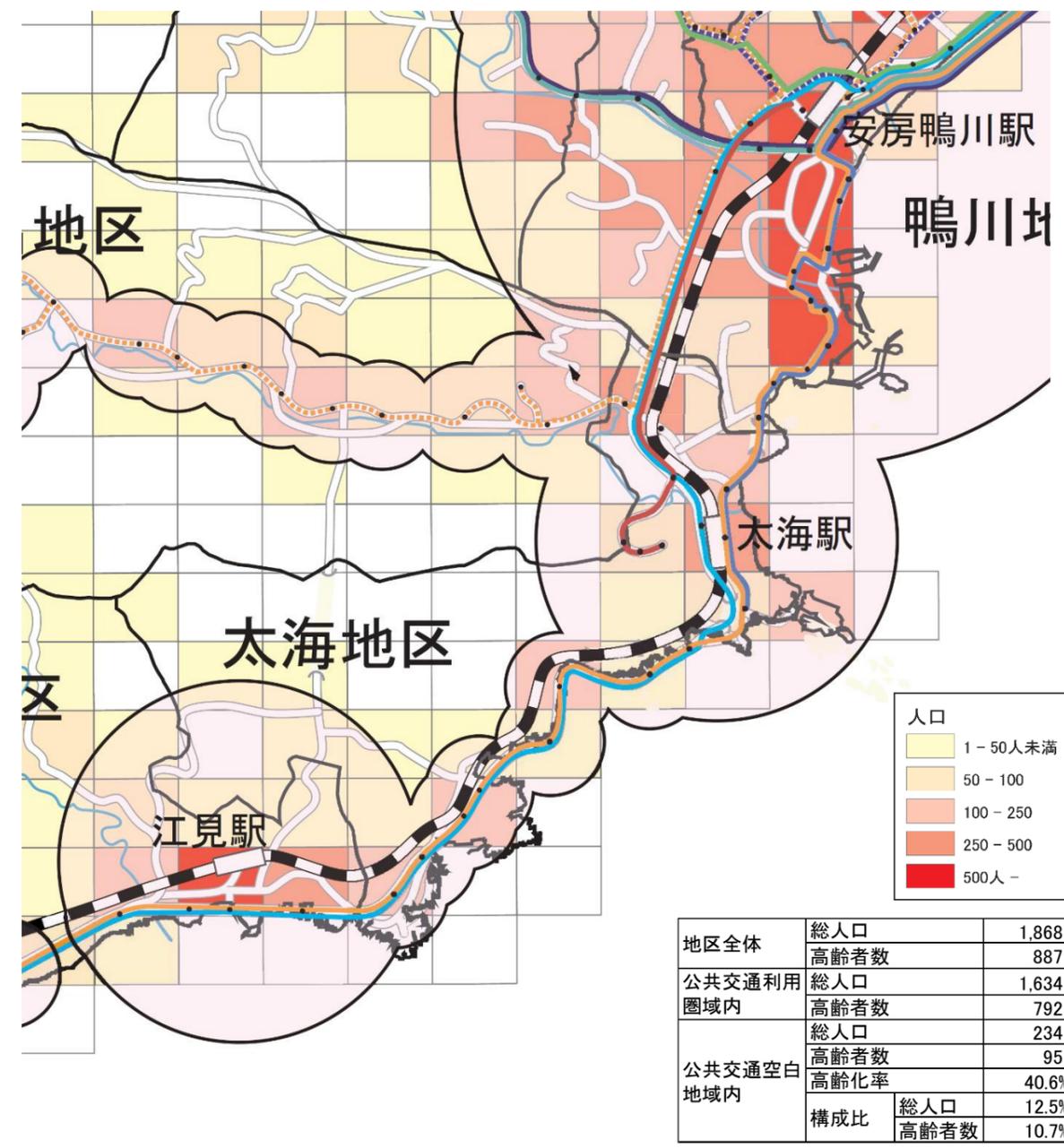
○通勤・通学の場合…市内 30.8%、勝浦市 5.1%、君津市・木更津市 2.6%、その他の県内市町村 2.6%、通勤・通学していない 59.0%
 ○日常の買物の場合…ベイシア鴨川 48.1%、おどや 29.6%、イオン鴨川 18.5%、自宅周辺 3.7%
 ○通院の場合…亀田総合病院 58.3%、小田病院 11.1%、その他市内 19.4%、東条病院 2.8%、市立国保病院 2.8%、その他市外 5.6%
 ○公共施設利用の場合…鴨川市役所 69.0%、ふれあいセンター17.2%、その他市内 13.8%



市民アンケート調査（回答数 39 件）

公共交通維持・充実に係る意向

■太海地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



太海地区の特性・市民ニーズ

- 年齢3区分別人口割合は老年人口が高く、年少人口、生産年齢人口で低い（高齢化率は12地区中6位）
- 公共交通空白地域に占める割合は、総人口が23.4%、高齢者が22.0%と少ない。
- 公共交通は鉄道駅・太海駅や、路線バス・5系統（市内線、館山鴨川線、安房白浜鴨川線、大学線、太海線）が運行中
- 外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は33.4%で、市平均25.8%より高く、行き先としては亀田総合病院、ベイシア鴨川店、イオン鴨川店が高い。
- 今後の取り組みの方向性は、「路線の廃止や運行本数の減便はやむを得ない」が28.2%と最も高い。
- 地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが、送迎はできない」が30.8%と最も高い。

小湊地区

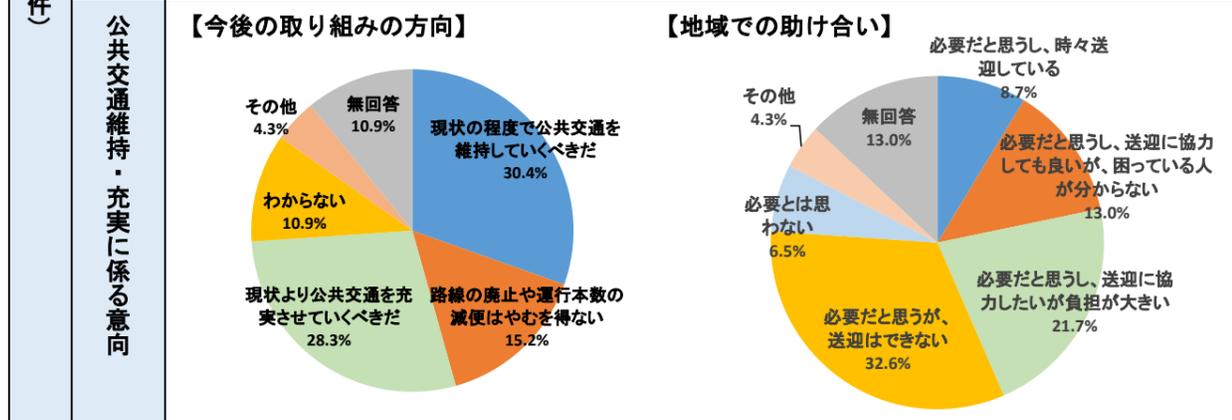
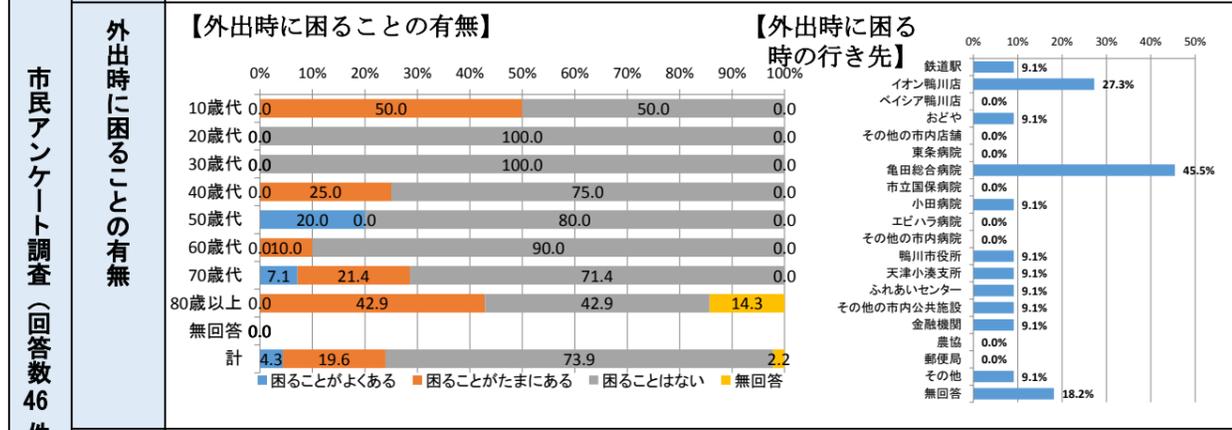
○世帯数：908 世帯、人口：1,856 人 ○人口密度：113.9 人/km²（市：177.3 人/km²）
 ○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口 10.0%、生産年齢人口 53.2%、老年人口 36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	135 人	868 人	853 人
割合	7.9%	46.8%	46.0%

○人口分布
 ・海側のエリアにおいて、小湊駅及び鉄道沿いに人口が集中している。
 ・山間部に向かう県道 285 号線沿いには、低密に人口が集積している。

○鉄道：鉄道駅 安房小湊駅
 ○路線バス（便数は往復運行で 1 便）
 ・市内線（仁右衛門島入口～興津駅）13 便
 ○コミュニティバス
 ・北ルート 4 便

○通勤・通学の場合…市内 52.2%、その他の県内市町村 2.2%、通勤・通学していない 45.7%
 ○日常の買物の場合…おどや 38.2%、イオン鴨川 35.3%、ベイシア鴨川 17.6%、自宅周辺 5.9%、館山市 2.9%
 ○通院の場合…亀田総合病院 70.0%、東条病院 10.0%、その他市内 10.0%、小田病院 7.5%、その他市外 2.5%
 ○公共施設利用の場合…天津小湊支所 35.1%、鴨川市役所 32.4%、ふれあいセンター16.2%、その他市内 16.2%



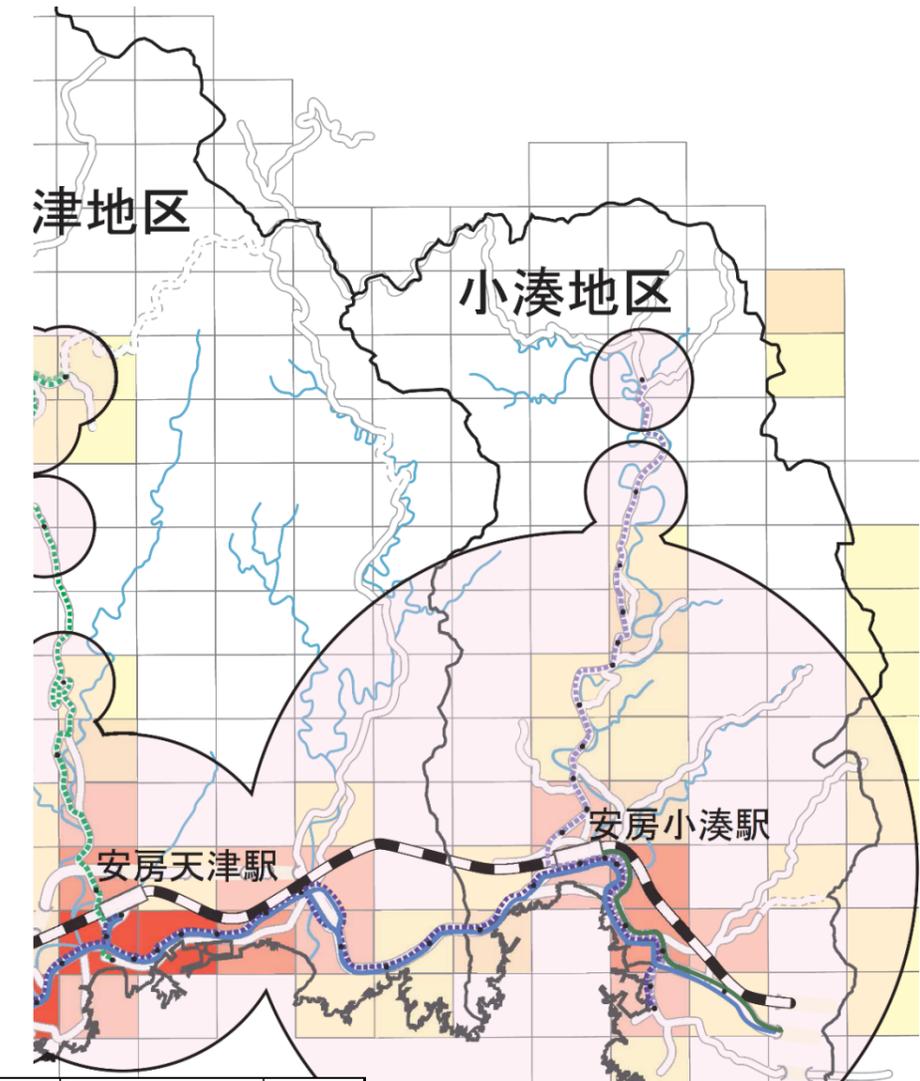
市民アンケート調査（回答数 46 件）

外出目的別の主な行き先

外出時に困ることの有無

公共交通維持・充実に係る意向

■小湊地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



地区全体	総人口	1,860
	高齢者数	828
公共交通利用圏域内	総人口	1,860
	高齢者数	828
公共交通空白地域内	総人口	0
	高齢者数	0
構成比	総人口	-
	高齢者数	-

人口

- 1 - 50人未満
- 50 - 100
- 100 - 250
- 250 - 500
- 500人 -

小湊地区の特性・市民ニーズ

○年齢3区分別人口割合は老年人口が高く、年少人口、生産年齢人口で低い（高齢化率は 12 地区中 2 位）
 ○公共交通空白地域に占める割合は、0 と全くない。
 ○公共交通は鉄道駅・安房小湊駅や、路線バス・1 系統（市内線）とコミュニティバス北ルートが運行中
 ○外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は 23.9%で、市平均 25.8%とやや低く、行き先としては亀田総合病院、イオン鴨川店が高い。
 ○今後の取り組みの方向性は、「現状の程度で公共交通を維持していくべきだ」が 30.4%と最も高い。
 ○地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが、送迎はできない」が 32.6%と最も高い。

天津地区

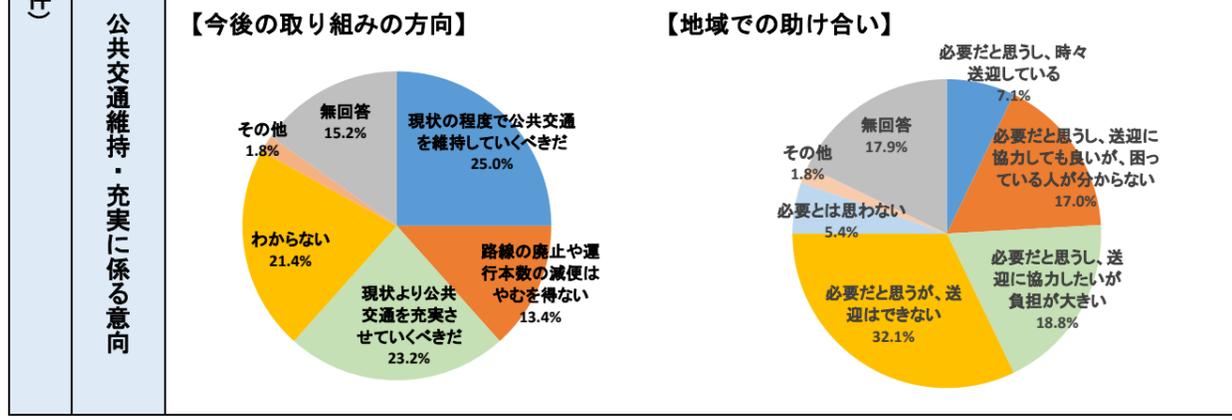
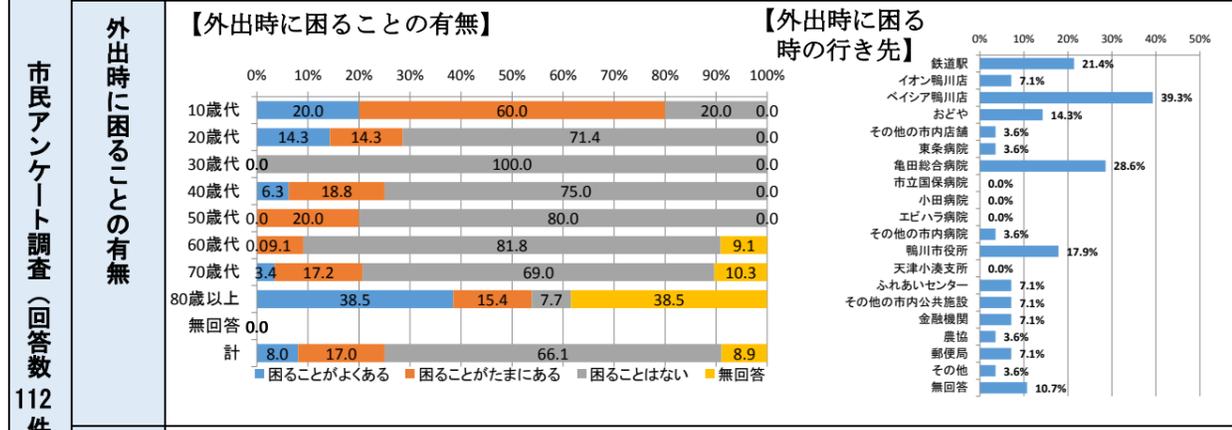
○世帯数：1,828 世帯、人口：4,074 人 ○人口密度：142.9 人/km²（市：177.3 人/km²）
 ○年齢3区分別人口・割合（市平均：年少人口 10.0%、生産年齢人口 53.2%、老年人口 36.8%）

	年少人口	生産人口	老年人口
人口	348 人	2,093 人	1,633 人
割合	8.5%	51.4%	40.1%

○人口分布
 ・海側のエリアにおいて、天津駅及び鉄道沿いに人口が集積している。
 ・山間部に向かう県道 81 号線沿いには、低密に人口が定着している。

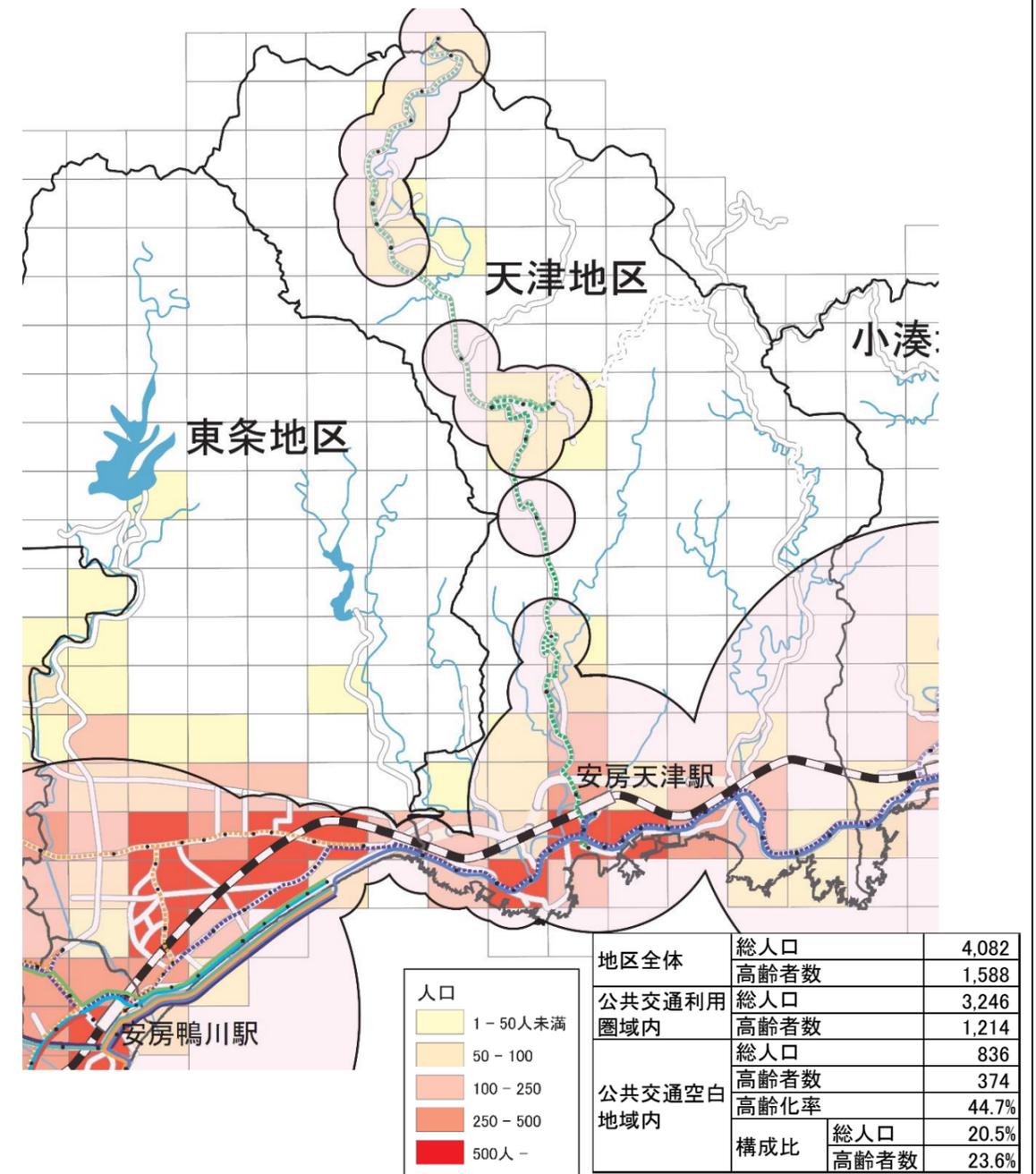
○鉄道：鉄道駅 安房天津駅
 ○路線バス（便数は往復運行で 1 便）
 ・市内線（仁右衛門島入口～興津駅）35 便
 ○コミュニティバス
 ・北ルート 4 便
 ・清澄ルート 7 便

○通勤・通学の場合…市内 45.2%、館山市 3.8%、君津市・木更津市 1.0%、その他の県内市町村 1.0%通勤・通学していない 46.2%
 ○日常の買物の場合…おどや 44.3%、イオン鴨川 21.6%、ベイシア鴨川 21.6%、自宅周辺 9.1%、その他市外 2.3%
 ○通院の場合…亀田総合病院 66.3%、その他市内 23.5%、小田病院 3.1%、東条病院 2.0%、市立国保病院 1.0%、その他市外 4.1%
 ○公共施設利用の場合…天津小湊支所 65.8%、鴨川市役所 27.6%、ふれあいセンター3.9%、その他市内 2.6%



市民アンケート調査（回答数 112 件）

■天津地区における人口分布と公共交通利用圏の関係



天津地区の特性・市民ニーズ

○年齢3区分別人口割合は老年人口が高く、年少人口、生産年齢人口で低い（高齢化率は 12 地区中 8 位）
 ○公共交通空白地域に占める割合は、総人口が 20.5%、高齢者が 23.6%とやや多い。
 ○公共交通は鉄道駅・安房天津駅や、路線バス・1 系統（市内線）とコミュニティバス北ルート・清澄ルートが運行中
 ○外出時に「困ることよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の割合は 25.0%で、市平均 25.8%と同様の傾向で、行き先としてはベイシア鴨川店、亀田総合病院が高い。
 ○今後の取り組みの方向性は、「現状の程度で公共交通を維持していきべきだ」が 25.0%と最も高い。
 ○地域での助け合いの必要性は、「必要だと思うが送迎はできない」が 32.1%と最も高い。